

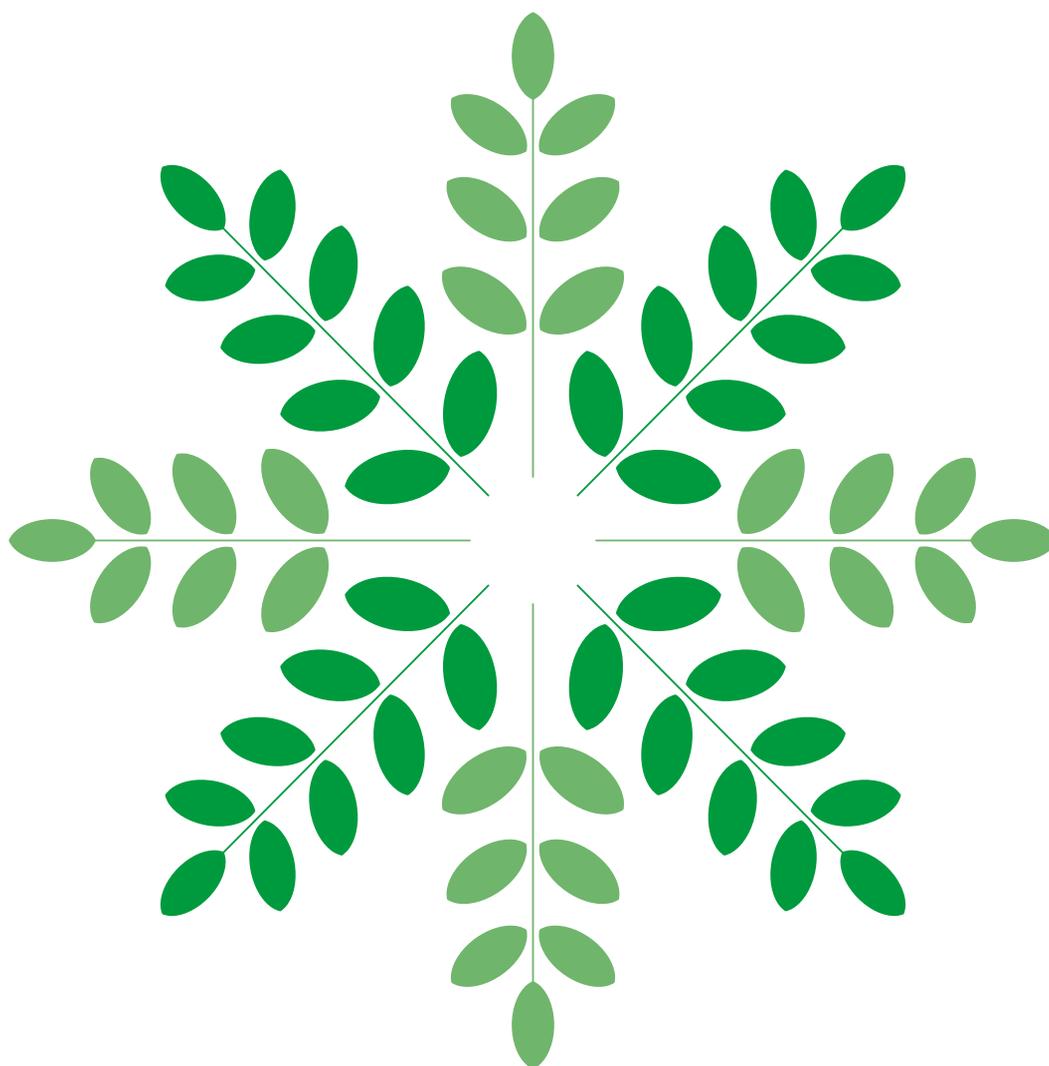
第5回

あん摩マッサージ指圧師・はり師及びきゅう師

免許取得者の進路状況 アンケート調査報告書

＜要約版＞

平成28年10月実施



刊行にあたり

近年、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を取り巻く環境は、国の内外を問わず大きく変わりつつあります。高齢化が進み、保健医療福祉分野が成長戦略の柱と位置づけられる中で、あはき師のニーズ増大が期待されていますが、その一方で、はり師きゅう師の累計免許取得者数は、20年前に比べ約1.6倍に増加、これに加えて、あはき業に関連する他の医療従事者数も年々増加しています。こうした状況の中で、あはき師養成施設を卒業した方々の進路および就業状況について把握することは、以前にも増してその重要性は高まっているものと考えます。

本調査は、あはき教育および学校運営の改善向上に資することを目的として、平成8年度に第1回目をスタートさせ、以来5年毎に実施し、今回が第5回目の本協会の主要事業の一つであります。

今年度の調査を実施するにあたりましては、前回までは会員校の卒業生のみを対象とした調査でしたが、平成24年度から本協会の公益社団法人への移行を考慮し、非会員校にもアンケートへの参加を呼びかけたところ、3校から参加の協力を得ることができました。

調査結果の詳細については各項に譲りますが、「全体の性別」の割合は、男女の比率がほぼ同じ割合となり、「年齢別」では調査回数を重ねるごとに平均年齢が上がっており、第1回目が32歳であったものが今回は37.7歳と5.7歳の上昇が見られます。「実務に従事の有無」では、前回までは「有」が80%を超えていましたが、今回調査で初めて80%を切りました。「実務に従事していない理由」を見ると、他業種へ勤務する者の割合が調査回数を重ねるごとに増となっています。「実務に従事している者」の勤務先では前回調査とほとんど変わらないものの、「病院・医院」の割合が減っており、出張施術のみ・老人医療施設が今までの調査に比べて増加したことなどが特徴としてあげられます。調査参加校におかれましては、今後の教育カリキュラム検討、進路指導並びに新たな進路開拓等における資料としてご活用頂ければと存じます。

今回の調査結果につきましては、前回同様、ホームページ等を通じて広く発信し、業団体・学会等関係団体とともに、今後のあはき師の更なるニーズ拡大に向けた活動につなげていきたいと考えております。

終わりに、本調査にご尽力頂いた企画調整部をはじめ関係各位に感謝申し上げますとともに、会員校及び参加校のご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。

平成29年1月

公益社団法人 東洋療法学校協会
会長 坂本 歩

目 次

刊行にあたり

公益社団法人東洋療法学校協会

会長 坂本 歩

	頁
第1編 調査の概要	1
第2編 調査結果	2
1. 調査対象者数と回答者数	2
2. 調査結果の分析	3
（1）回答者の選択課程分布	3
（2）回答者の性別分布	4
（3）免許の種別	5
（4）免許の合格試験年次	6
（5）実務に従事の有無	8
（6）実務に従事していない理由	10
（7）開設・勤務状況	11
（8）開設時の免許取得年数	13
（9）勤務時の免許取得年数	14
（10）開設している施術所の種別	15
（11）勤務先の種別	16
（12）報酬または給与	17
（13）取扱患者の主な症状	20
（14）学会等の入会状況	21
（15）業界団体の加入状況	23
資料編	
1. アンケート調査票	25

第1編 調査の概要

1. 調査の目的

あん摩マッサージの指圧師、はり師及びきゅう師に関する法律（昭和22年12月20日法律第212号）の一部を改正する法律（昭和63年5月31日法律第71号）の施行に伴う新制度における学校・養成施設の卒業者が、国家試験に合格し、免許取得後どのような進路をとり、就職活動及び社会活動の場を選択しているか、進路状況アンケート調査を平成8年10月実施を第1回とし、以降5年毎に平成13年10月実施（第2回）、平成18年10月実施（第3回）、平成23年10月実施（第4回）、今年度第5回目のアンケート調査を行い、今後の学校教育・学校経営に資する基礎資料を得ることを目的とした。

2. 調査の対象及び調査客体

本調査は公益社団法人東洋療法学校協会加盟の会員校及び非加盟協力校卒業生で、平成24年から平成28年までの国家試験に合格し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の免許を取得した者（約11,600名）を調査対象者とし、転居不明者を除き、確認のできたものを調査客体とした。

3. 調査の実施方法

本調査は、当学校協会加盟のうち該当者のある会員校と非加盟協力校において、予め名簿（卒業年次ごとの氏名、住所など）を作成し、その名簿に基づき、各々の対象者宛に調査票を郵送して実施した。

4. 調査の実施期日及び調査票提出日

本調査の実施日は平成28年10月1日とし、調査票の提出は平成28年10月24日までとして返信用封筒により調査票の回収を行った。

5. 調査票及び同記入要領

資料編に添付のあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師免許取得者の進路状況アンケート票及び同記入要領のとおりである。

6. 調査及び集計・分析委託機関

この調査の企画立案は、公益社団法人東洋療法学校協会企画調整部と事務局が担当した。なお、調査票の集計・分析は株式会社日本インヴェスティゲーションに委託した。

第2編 調査結果

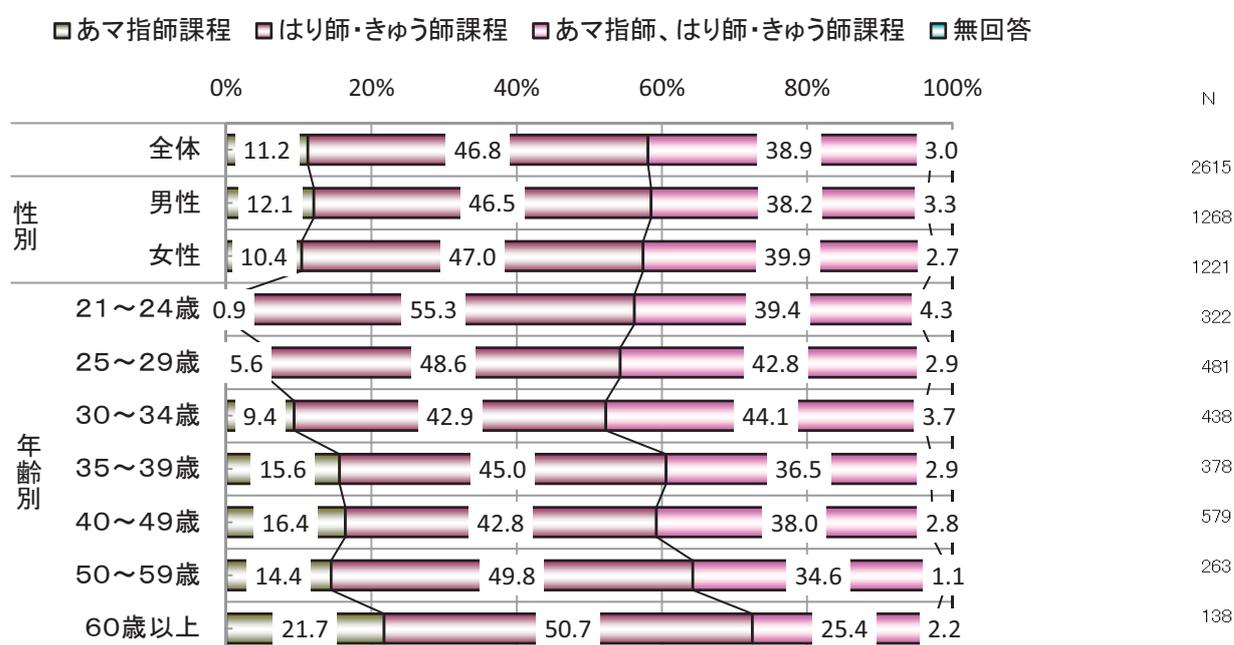
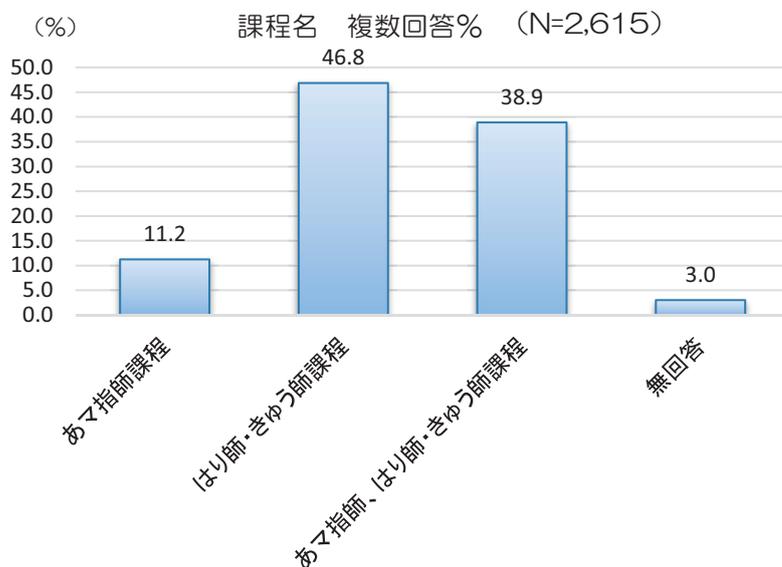
1. 調査対象者数と回答者数

調査対象者数は、実際に対象者宛の調査票送付が11,607件であった。転居先不明などの返戻分703件を除き、調査客体数は10,904件となり、回答数は2,615件（回答率24%）あった。

28 番号	学 校 名	調査対象者 (A)	転出先不明者数		調査客体数 (C) (A) - (B)	協力回答者数		無回答者数		備 考
			実数(B)	百分比 (B/A)		実数(D)	百分比 (D/C)	実数(E)	百分比 (E/C)	
1	北海道鍼灸専門学校	157	3	0.02	154	58	0.38	96	0.62	
2	赤門鍼灸柔整専門学校	273	24	0.09	249	73	0.29	176	0.71	
3	大川学園医療福祉専門学校	85	2	0.02	83	32	0.39	51	0.61	
4	呉竹医療専門学校	454	16	0.04	438	112	0.26	326	0.74	
5	東京医療専門学校	505	7	0.01	498	113	0.23	385	0.77	
6	東洋鍼灸専門学校	456	18	0.04	438	110	0.25	328	0.75	
7	人間総合科学大学鍼灸医療専門学校	94	2	0.02	92	27	0.29	65	0.71	
8	東京医療福祉専門学校	282	5	0.02	277	71	0.26	206	0.74	
9	東京衛生学園専門学校	227	7	0.03	220	81	0.37	139	0.63	
10	日本鍼灸理療専門学校	706	47	0.07	659	147	0.22	512	0.78	
11	長生学園	453	8	0.02	445	141	0.32	304	0.68	
12	日本指圧専門学校	472	48	0.10	424	121	0.29	303	0.71	
13	国際鍼灸専門学校	197	4	0.02	193	57	0.30	136	0.70	
14	了徳寺学園医療専門学校	150	3	0.02	147	27	0.18	120	0.82	
15	中央医療学園専門学校	105	7	0.07	98	23	0.23	75	0.77	
16	日本医学柔整鍼灸専門学校	199	34	0.17	165	32	0.19	133	0.81	
17	日本健康医療専門学校	167	7	0.04	160	32	0.20	128	0.80	
18	東京メディカル・スポーツ専門学校	216	36	0.17	180	37	0.21	143	0.79	
19	新宿鍼灸柔整歯科衛生専門学校	34	0	0.00	34	19	0.56	15	0.44	
20	日本工学院八王子専門学校	153	0	0.00	153	1	0.01	152	0.99	
21	関東鍼灸専門学校	109	4	0.04	105	30	0.29	75	0.71	
22	湘南医療福祉専門学校	172	27	0.16	145	30	0.21	115	0.79	
23	呉竹鍼灸柔整専門学校	421	32	0.08	389	102	0.26	287	0.74	
24	神奈川衛生学園専門学校	370	29	0.08	341	73	0.21	268	0.79	
25	信州医療福祉専門学校	102	4	0.04	98	19	0.19	79	0.81	
26	東海医療学園専門学校	206	1	0.005	205	63	0.31	142	0.69	
27	専門学校浜松医療学院	119	12	0.10	107	24	0.22	83	0.78	
28	専門学校名古屋鍼灸学校	135	14	0.10	121	31	0.26	90	0.74	
29	中和医療専門学校	445	4	0.01	441	103	0.23	338	0.77	
30	京都仏眼鍼灸理療専門学校	303	10	0.03	293	92	0.31	201	0.69	
31	大阪行岡医療専門学校長柄校	365	49	0.13	316	85	0.27	231	0.73	
32	明治東洋医学院専門学校	441	1	0.002	440	66	0.15	374	0.85	
33	関西医療学園専門学校	401	10	0.02	391	86	0.22	305	0.78	
34	森/宮医療学園専門学校	585	99	0.17	486	84	0.17	402	0.83	
35	履正社医療スポーツ専門学校	116	7	0.06	109	10	0.09	99	0.91	
36	大阪医療技術学園専門学校	207	13	0.06	194	28	0.14	166	0.86	
37	大阪ハイテクノロジー専門学校	136	5	0.04	131	18	0.14	113	0.86	
38	兵庫鍼灸専門学校	61	0	0.00	61	19	0.31	42	0.69	
39	朝日医療大学校	188	26	0.14	162	41	0.25	121	0.75	
40	IGL医療福祉専門学校	85	6	0.07	79	27	0.34	52	0.66	
41	朝日医療専門学校広島校	138	2	0.01	136	27	0.20	109	0.80	
42	四国医療専門学校	369	5	0.01	364	112	0.31	252	0.69	
43	福岡医療専門学校	273	29	0.11	244	72	0.30	172	0.70	
44	鹿児島鍼灸専門学校	111	8	0.07	103	18	0.17	85	0.83	
	A(加盟校)44校	11,243	675	0.06	10,568	2,574	0.24	7,994	0.76	
45	中野健康医療専門学校	34	3	0.09	31	6	0.19	25	0.81	
46	アルファ医療福祉専門学校	108	5	0.05	103	20	0.19	83	0.81	
47	平成医療学園専門学校	222	20	0.09	202	15	0.07	187	0.93	
	B(非加盟校)3校	364	28	0.08	336	41	0.12	295	0.88	
	合計 47校	11,607	703	0.06	10,904	2,615	0.24	8,289	0.76	調査対象 47校

2. 調査結果の分析

(1) 回答者の選択課程分析



全体では、「はり師・きゅう師課程」が46.8%と最も多く、ついで「あま指師、はり師・きゅう師課程」が38.9%、「あま指師課程」が11.2%となった。

<性別>

男性では、「はり師・きゅう師課程」が46.5%と最も多く、「あま指師、はり師・きゅう師課程」が38.2%、「あま指師課程」が12.1%となった。一方、女性では「はり師・きゅう師課程」が47.0%と半数近くを占め、「あま指師、はり師・きゅう師課程」が39.9%、「あま指師課程」が10.4%と男性と同じく1割台前半となった。

<年齢別>

「はり師・きゅう師課程」は40~49歳(42.8%)が最も低く、次いで30~34歳(42.9%)となっている。「あま指師、はり師・きゅう師課程」は30~34歳(44.1%)に近づくほど高くなる傾向がみられる。「あま指師課程」は加齢とともに高くなる傾向がややみられる。

(2) 回答者の性別分布

全体では、前回までの調査では、男性が50%以上と過半数を上回っていたが、今回は男性48.5%、女性が46.7%とほぼ同比率となっている。

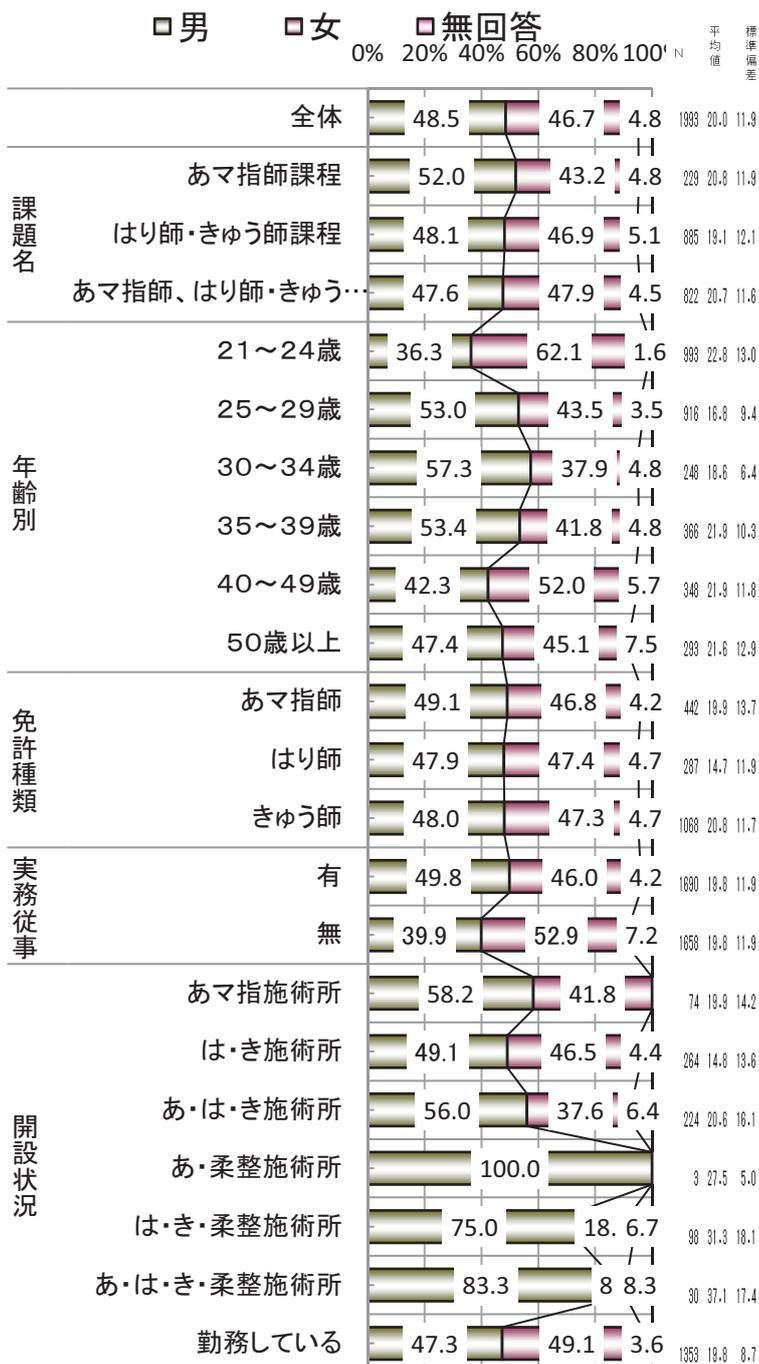
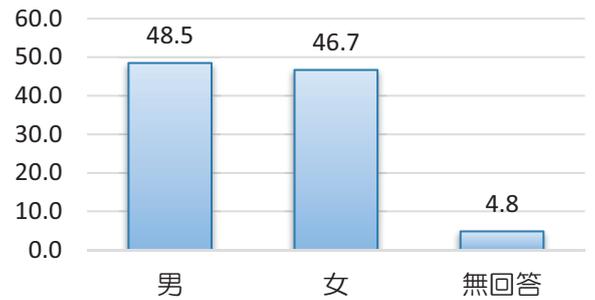
<課程名別>

「あま指師、はり師・きゅう師課程」では、女性比率が若干ながら男性比率を上回った。

<年齢別>

女性比率が高いのは、21～24歳（62.1%）であり、次いで40～49歳（52.0%）となっている。他の年齢層では女性比率は4割台となっている。

(%) Q1 性別% (N=2,615)



<免許種別>

「あま指師」では男性比率が49.1%と若干高くなっているが、「はり師」、「きゅう師」では、男女比率が拮抗している。

<実務従事比率>

実務従事有層では、男性比率が49.8%と半数近くを占めているが、逆に実務従事無層では、女性比率が52.9%と過半数を超えている。

<開設状況別>

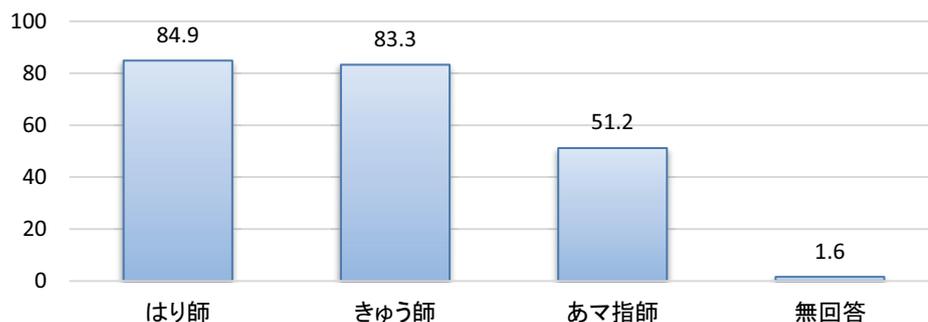
開設している層では、「は・き施術所」（49.1%）を除き、いずれも男性が過半数を超えており、特に「あ・は・き柔整施術所」が83.3%、「は・き柔整施術所」が75.0%と高く、「あま指施術所」が58.2%、「あ・は・き施術所」が56.0%、「は・き施術所」が49.1%となっている。

※「あ・柔整施術所」はN=3のため、上記比較からは除外した。

一方、勤務している層では、男性比率が47.3%、女性比率が49.1%と女性比率が高くなっている。

(3) 免許の種類別

Q3 免許の種類別 複数回答 % (N=2,615)



全体では、はり師（84.9%）が最も多く、次いできゅう師が83.3%、あま指師が51.2%となった。

<性別>

女性は男性と比べて、はり師やきゅう師比率が高く、あま指師は男性とそれほど変わらない。

<年齢別>

はり師やきゅう師比率は、若年層ほど高くなる傾向がみられる。

<免許種別>

はり師は、きゅう師の免許を99.2%同時保有し、きゅう師ははり師の免許を97.3%同時保有している。また、あま指師は、はり師の免許を45.0%同時保有し、きゅう師の免許を45.3%同時保有している。

Q3 免許の種類別 複数回答 %

	N	はり師	きゅう師	あま指師	無回答
全体	2615	84.9	83.3	51.2	1.6
性別	男	83.8	82.5	51.8	1.5
	女	86.2	84.4	51.3	1.7
年齢別	21~24歳	92.5	92.2	40.7	2.2
	25~29歳	91.1	89.4	49.5	1.9
	30~34歳	86.5	84.7	56.2	2.1
	35~39歳	82.0	81.2	52.6	1.3
	40~49歳	79.1	75.3	55.8	1.9
	50歳以上	80.8	80.8	48.1	0.2
免許種類	あま指師	74.6	73.7	100.0	0.0
	はり師	100.0	97.3	45.0	0.0
	きゅう師	99.2	100.0	45.3	0.0

(4) 免許の試験合格年次

全体で、平成28年調査の調査年の占める割合は、あま指師が19.2%、はり師が20.5%、きゅう師が20.8%となった。

<性別>

あま指師、はり師、きゅう師のいずれにおいても、男女共に、試験合格年次別の構成比はそれほど変わらない。

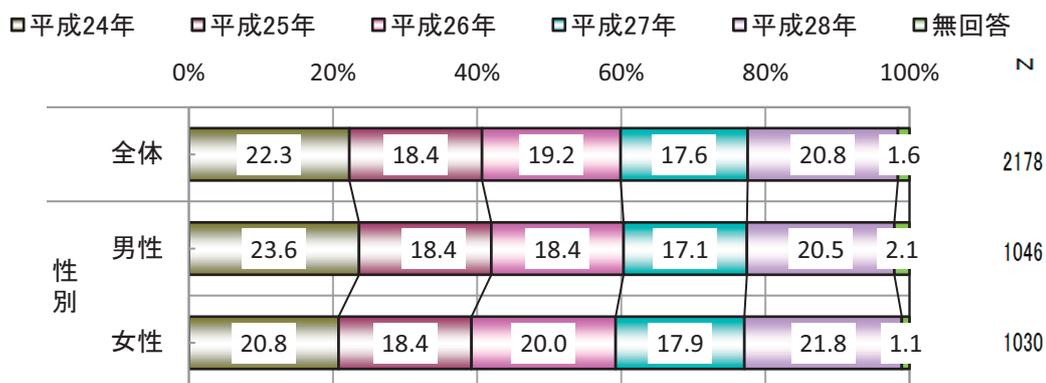
Q3 試験合格年次 あま指師 %



Q3 試験合格年次 はり師 %

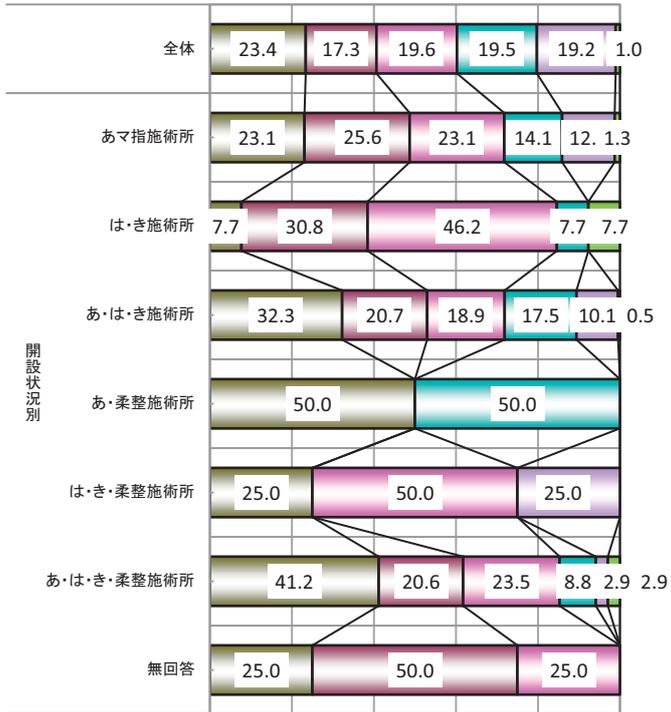


Q3 試験合格年次 きゅう師 %



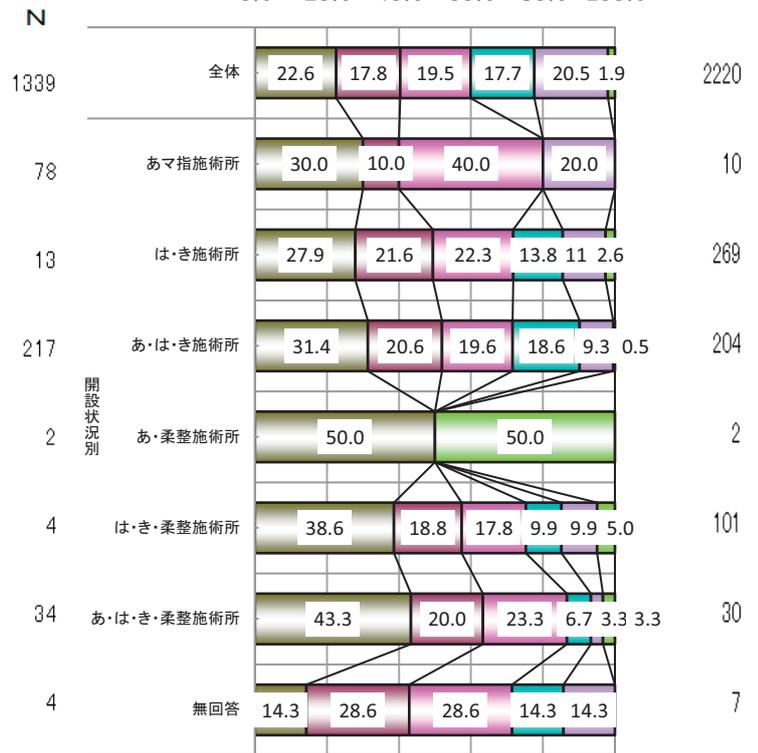
Q3 開設者の試験合格年次 あマ指師 %

□平成24年 □平成25年 □平成26年
 □平成27年 □平成28年 □無回答



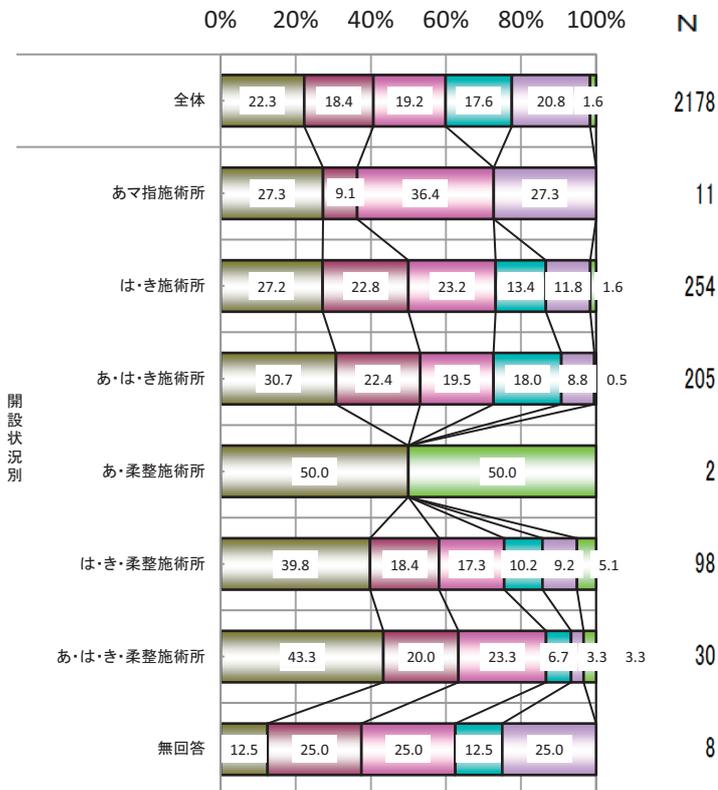
Q3 開設者の試験合格年次 はり師 %

□平成24年 □平成25年 □平成26年
 □平成27年 □平成28年 □無回答

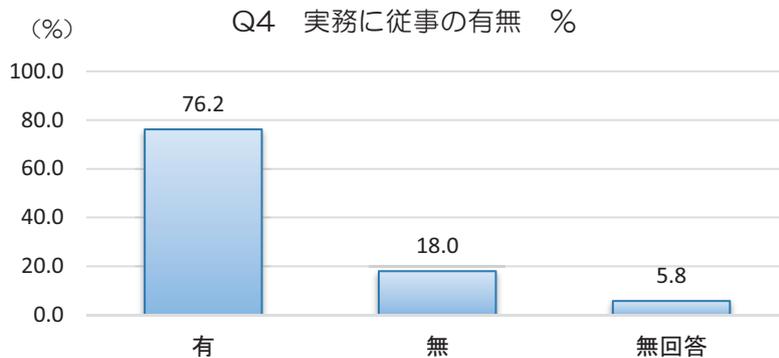


Q3 開設者の試験合格年次 きゅう師 %

□平成24年 □平成25年 □平成26年
 □平成27年 □平成28年 □無回答

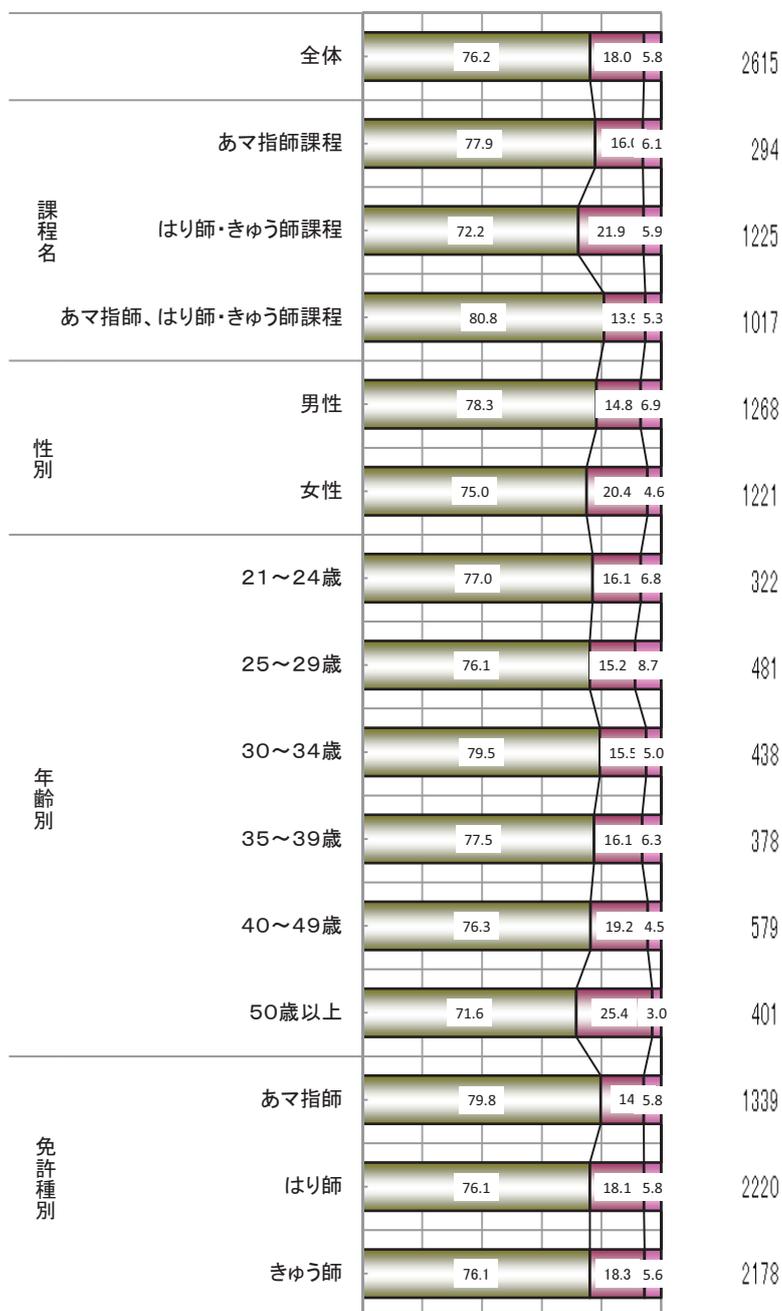


(5) 実務に従事の有無



□有 □無 □無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



全体では、実務に従事「有」が76.2%と圧倒的に多い。ただし、平成8年の調査以降全ての調査において「有」が80%を超えていたが、本年調査で初めて80%を切った。

<課程名別>

「あま指師、はり師・きゅう師課程」で「有」が80.8%と最も高い。

<性別>

男性が78.3%、女性が75.0%と「有」では男性が多いが、その差は縮まってきている。

<年齢別>

30～34歳で「有」が79.5%と最も高いが、その他の年齢も75%を超えており、ほぼ比率的には同じになっている。

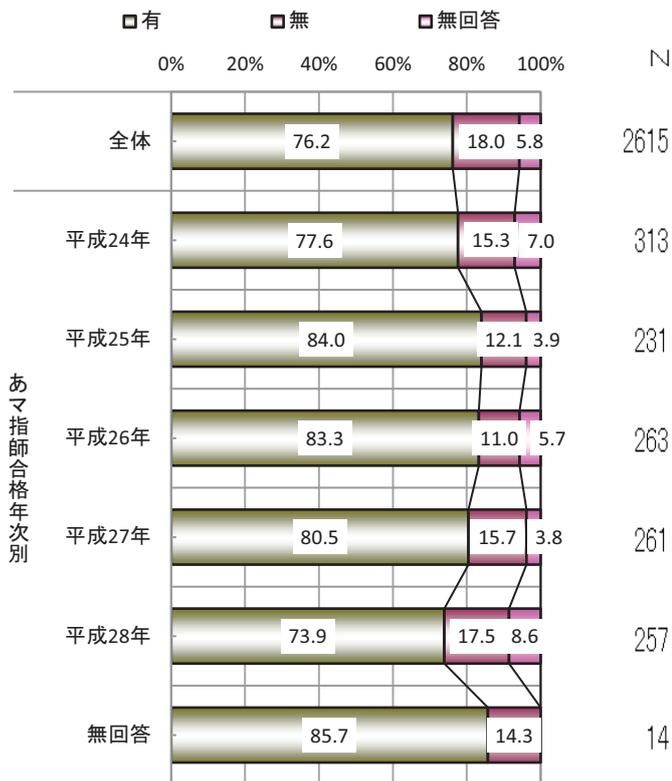
<免許種別>

「あま指師」が79.8%と最も高くなっているが、はり師、きゅう師ともに76.1%と同比率となっている。

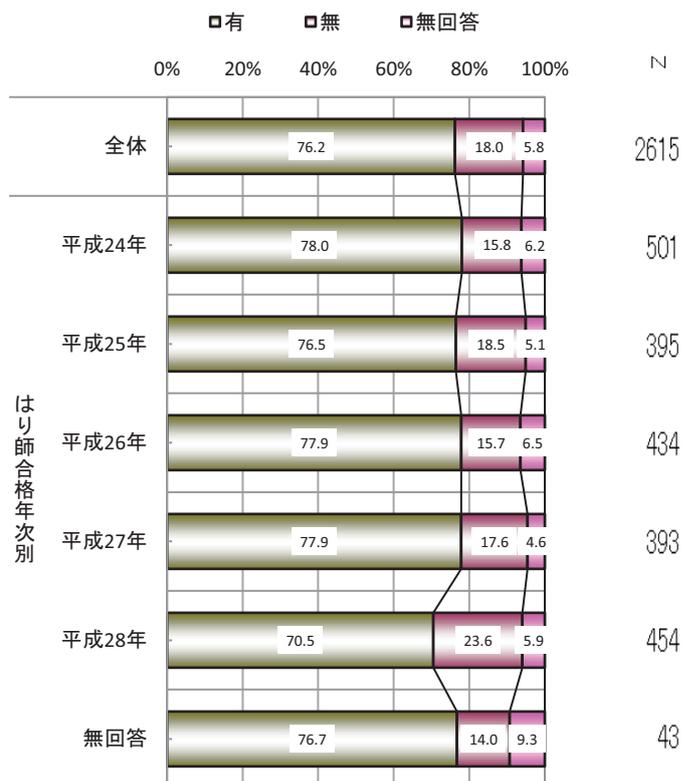
<合格年次別>

いずれの種類でも「有」の比率は、調査年(平成28年)の合格者が最も低くなっている。

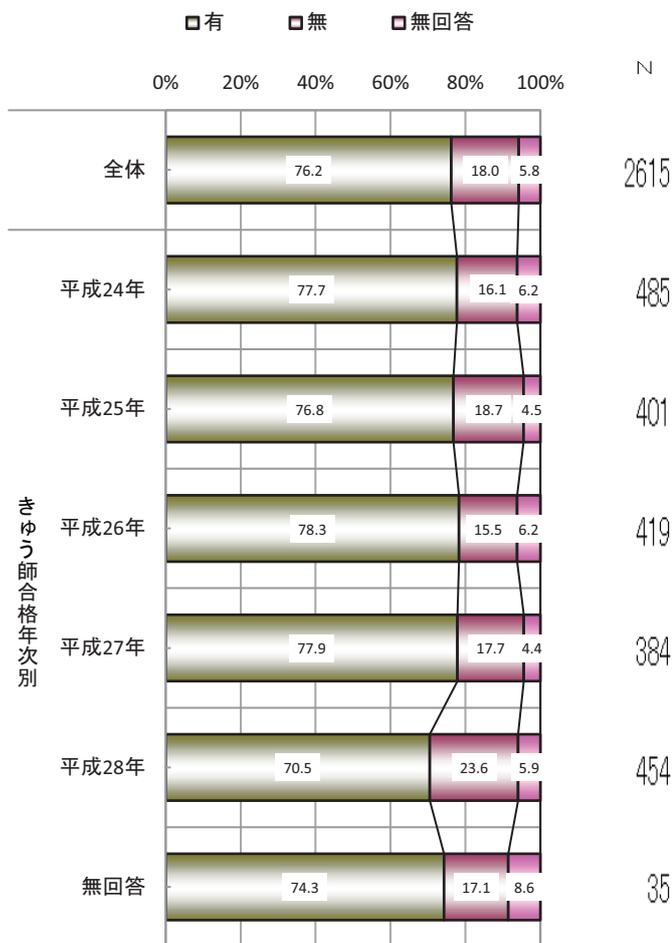
Q4 実務に従事の有無 複数回答 %



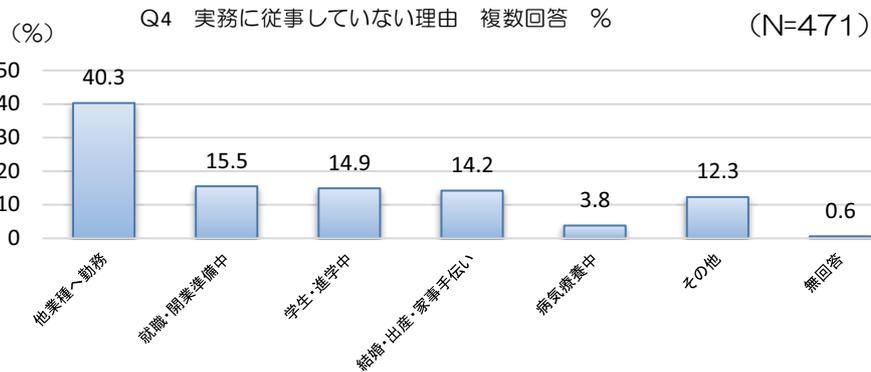
Q4 実務に従事の有無 複数回答 %



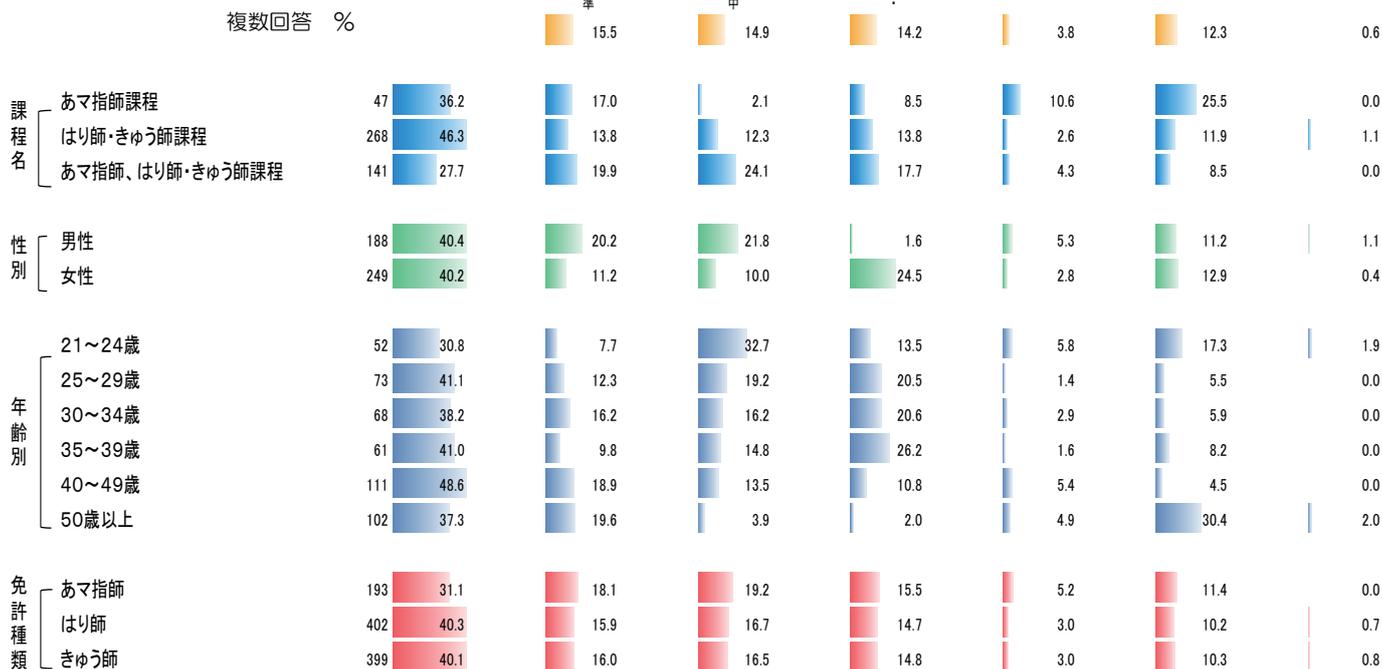
Q4 実務に従事の有無 複数回答 %



(6) 実務に従事していない理由



Q4 実務に従事していない理由



全体では、実務に従事していない理由として「他業種へ勤務」が40.3%と最も多い。

<課程名別>

いずれの課程でも「他業種へ勤務」が最も多いが、「あま指師、はり師・きゅう師課程」では、「学生・進学中」が24.1%と二番目に多くなっている。

<性別>

「他業種へ勤務」が男性で40.4%、女性で40.2%といずれも最も高くなっているが、女性では、「結婚・出産・家事手伝い」が24.5%と二番目になっている。

<年齢別>

21～24歳では「学生・進学中」が32.7%と最も高くなっており、年齢とともにその比率は低くなっている。その他の年齢では、いずれも「他業種へ勤務」が最も高くなっている。

<免許種類>

いずれの免許種類でも「他業種へ勤務」が最も高くなっているが、「あま指師」では「学生・進学中」が19.2%、「就職・開業準備中」が18.1%となっている。

(7) 開設・勤務状況

(%) Q4 開設・勤務の状況 複数回答 % (N=2,144)



	N	開設している (%)	勤務している (%)	無回答 (%)	
全体	2144	34.5	68.5	0.1	
課程名	あま指師課程	247	34.4	71.3	0.0
	はり師・きゅう師課程	957	39.4	62.8	0.2
	あま指師、はり師・きゅう師課程	876	29.1	73.7	0.0
性別	男性	1080	39.3	64.3	0.1
	女性	972	28.6	74.2	0.0
年齢別	21～24歳	270	4.1	96.3	0.0
	25～29歳	408	19.1	82.8	0.0
	30～34歳	370	30.5	74.3	0.0
	35～39歳	317	40.4	63.1	0.0
	40～49歳	468	47.0	56.8	0.4
	50歳以上	299	62.2	40.5	0.0
免許種類	あま指師	1146	30.7	72.9	0.0
	はり師	1818	34.3	68.4	0.1
	きゅう師	1779	34.2	68.5	0.1

全体では、「開設している」が34.5%、「勤務している」が68.5%となっている。

<課程名別>

「開設している」は、「はり師・きゅう師課程」が39.4%と比較的高く、「あま指師、はり師・きゅう師課程」は29.1%と低い。

<性別>

「開設している」は、男性が39.3%、女性が28.6%と男性の方が10.7ポイント高い。

<年齢別>

「開設している」は、加齢と共に高くなり、逆に「勤務している」は加齢と共に低くなる傾向となっている。

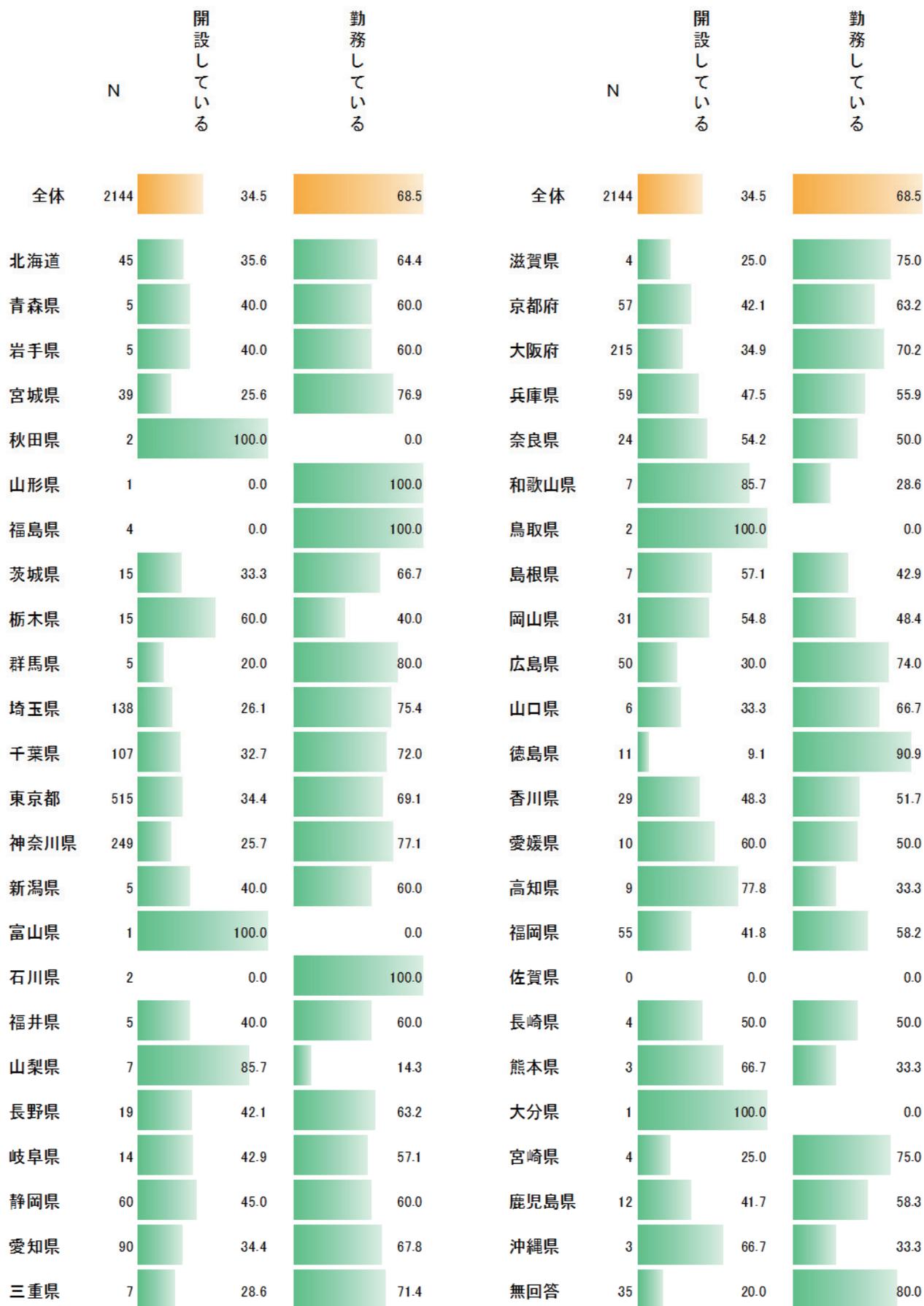
<免許種類別>

いずれの免許種類でも、開設と勤務の割合はほぼ3：7となっている。

<所在地別>

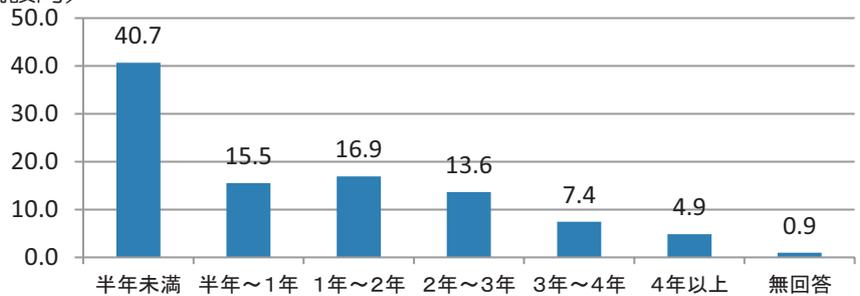
開設者または勤務者の所在地別の開設及び勤務比率は次頁のグラフの通りである。

Q4 開設・勤務の状況 所在地別 %



(8) 開設時の免許取得年数 (新規設問)

全体としては、「半年未満」が40.7%と最も多く、次いで「1年～2年」が16.9%となっている。



Q5 開設時の免許取得年数 %

- 半年未満
- 半年～1年
- 1年～2年
- 2年～3年
- 3年～4年
- 4年以上
- 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

平均値
標準偏差
N

<課程名別>

「あま指師課程」では、54.1%と半数以上が免許習得後「半年未満」で開設している。

<性別>

「半年未満」の比率が、男性41.5%、女性39.6%となっている。

<年齢別>

「半年未満」の開設比率は加齢と共に高まっている傾向であるが、50歳以上では半数以上が「半年未満」の開設である。

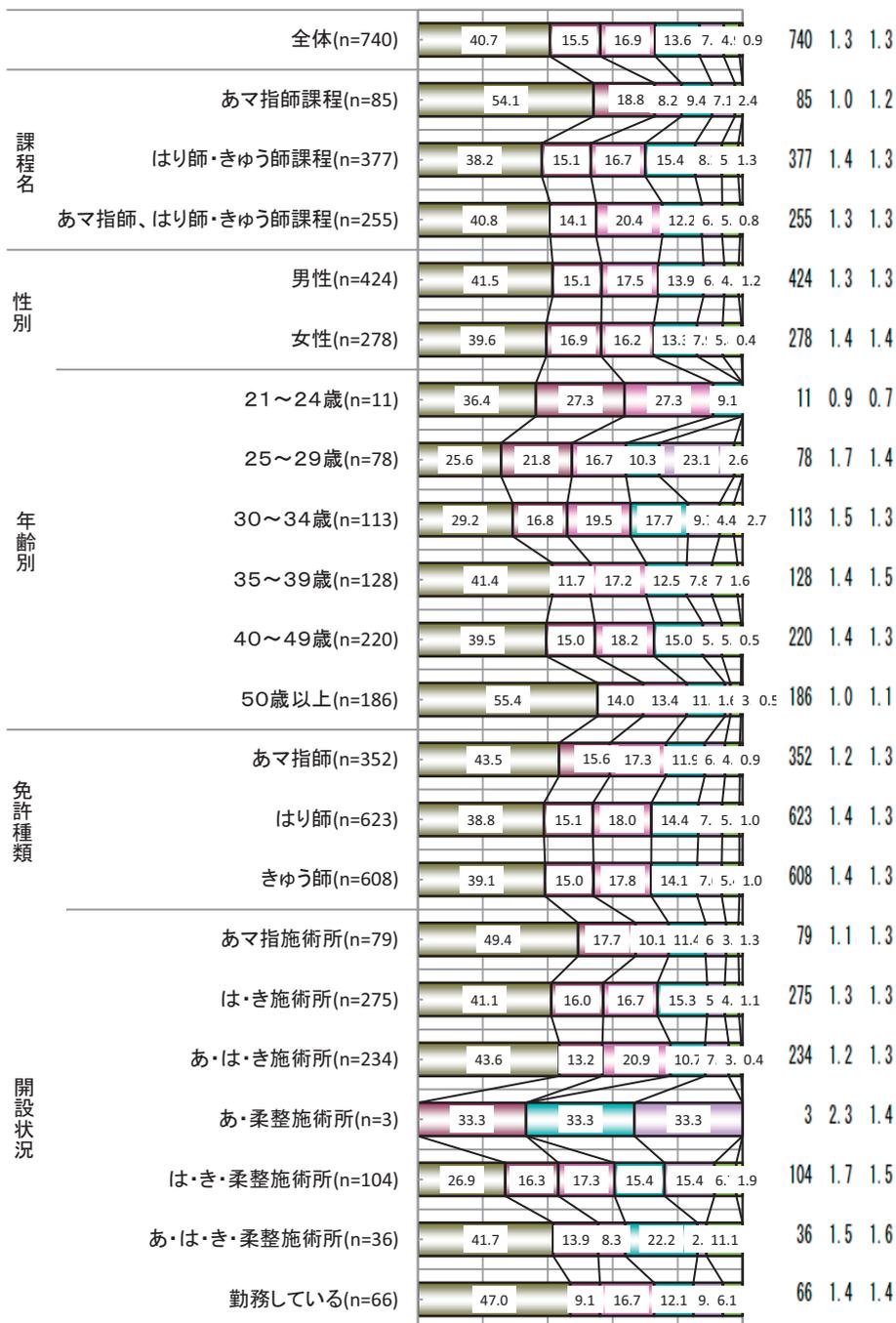
<免許種類別>

「あま指師」では「半年未満」の比率が43.5%となっている。傾向としては課程名別と同様である。

<開設状況別>

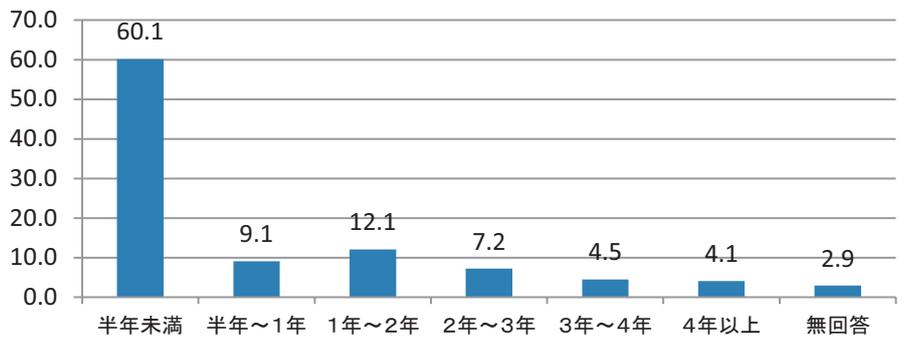
「は・き・柔整施術所」(26.9%)を除くと「半年未満」での開設が4割を超えている。

※「あ・柔整施術所」はN=3のため、上記比較からは除外した。



(9) 勤務時の免許取得年数 (新規設問)

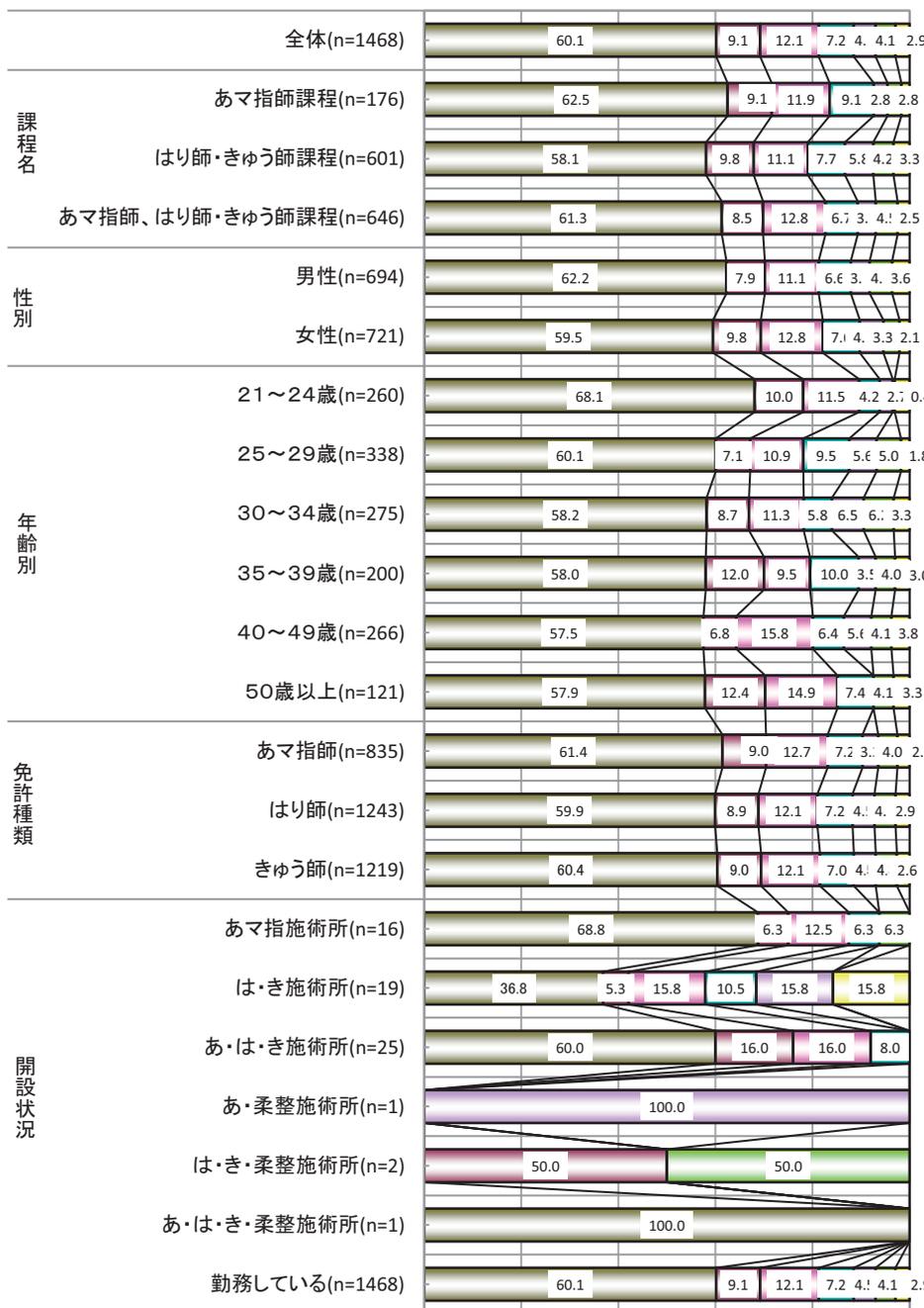
全体としては、「半年未満」の比率が60.1%で最も多い。



Q6 勤務時の免許取得年数 %

□半年未満 □半年～1年 □1年～2年 □2年～3年

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<課程名別>

「あま指師課程」(62.5%)、「あま指師、はり師・きゅう師課程」(61.3%)では、「半年未満」の比率が6割を超えており、「はり師・きゅう師課程」でも58.1%となっている。

<性別>

「半年未満」の比率が、男性62.2%、女性59.5%となっている。

<年齢別>

「半年未満」の比率は21歳～24歳で68.1%と最も高くなっており、それ以降は加齢と共に比率は低下している。

<免許種類別>

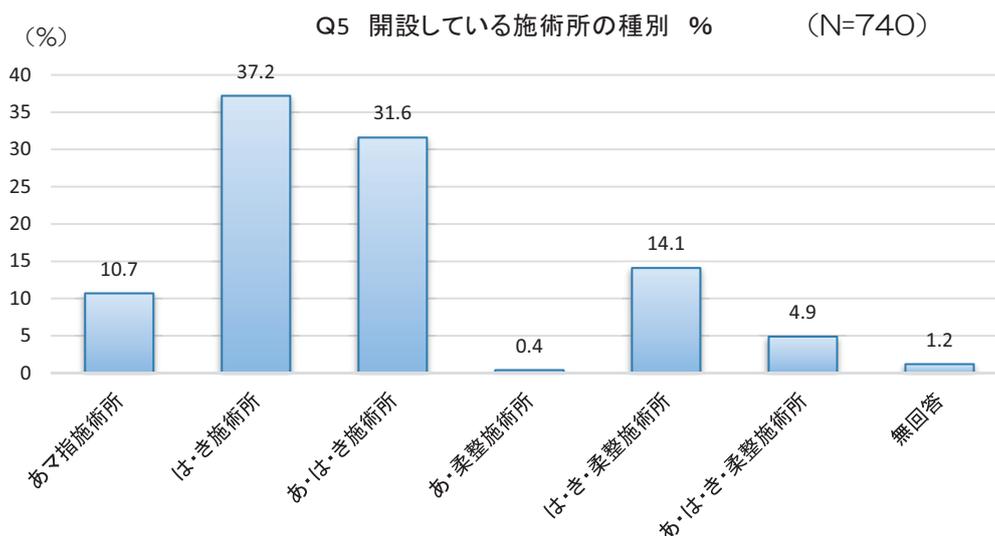
「あま指師」では「半年未満」の比率が61.4%、「きゅう師」61.4%、「はり師」59.9%となっている。

<開設状況別>

「半年未満」の比率が「あま指施術所」が68.8%、「あ・は・き施術所」が60.0%を占めている。

※「あ・柔整施術所」、「あ・は・き・柔整施術所」はN=1、「は・き柔整施術所」はN=2のため、上記比較からは除外した。

(10) 開設している施術所の種別



全体では、「は・き施術所」(37.2%) や「あ・は・き施術所」(31.6%) が多く、ついで「は・き・柔整施術所」が 14.1%、「あま指施術所」が 10.7%となった。

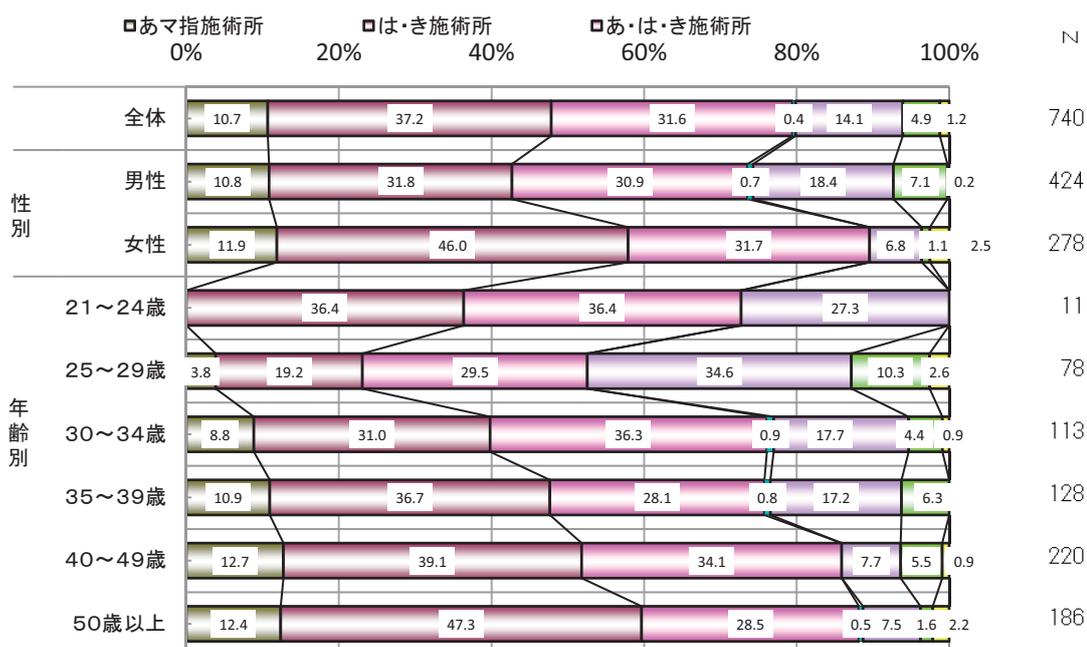
<性別>

女性は男性と比べて「は・き施術所」の構成比が高くなっている。一方、男性は女性と比べて「は・き・柔整施術所」の構成比が高くなっている。

<年齢別>

「は・き施術所」は、50歳以上で47.3%と最も高く、「あ・は・き施術所」は21～24歳層(36.4%)と30～34歳層(36.3%)で比率が高くなっている。「は・き・柔整施術所」は25～29歳層で34.6%と最も比率が高くなり、以降加齢と共に比率が減少している。一方、「あま指施術所」は加齢と共に増加する傾向にある。

Q5 開設している施術所の種別 %



(11) 勤務先の種別

全体としては、「は・き・柔整施術所」が20.3%と最も多い。これ以外では「出張施術のみ」、「あ・は・き・柔整施術所」、「あ・は・き施術所」、「病院・医院」がいずれも1割台となっている。

<課程名別>

各課程に対応した勤務先が当然高くなっている。「出張のみ」の比率が高いのは、「アマ指師課程」で29.5%であり、次いで「アマ指師、はり師・きゅう師課程」で19.7%となっている。

<性別>

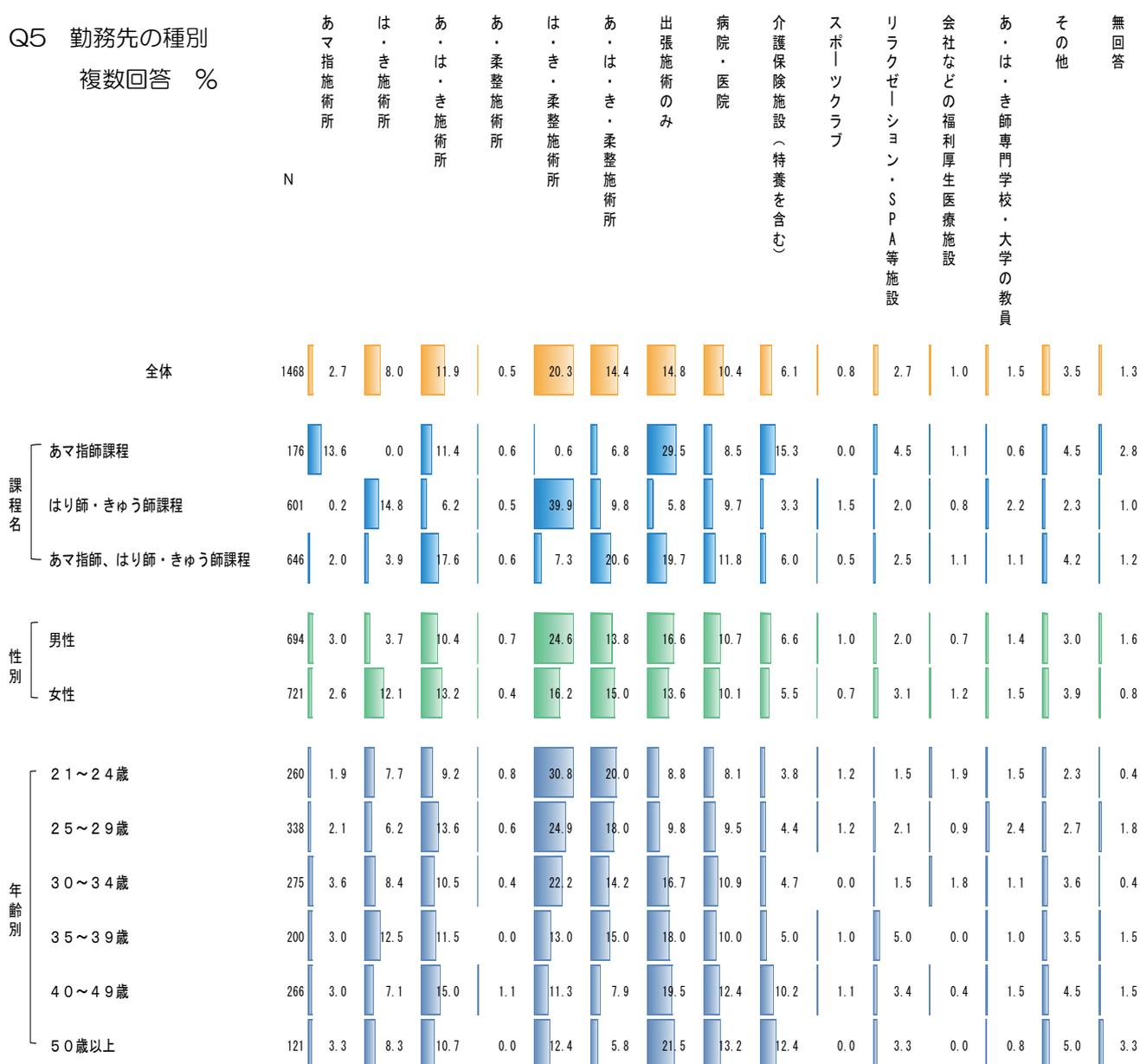
男女共に「は・き・柔整施術所」の構成比が最も高い。男性は女性と比べて「出張施術のみ」の構成比率が高く、女性は男性に比べて「は・き施術所」、「あ・は・き施術所」の構成比率が高かった。

<年齢別>

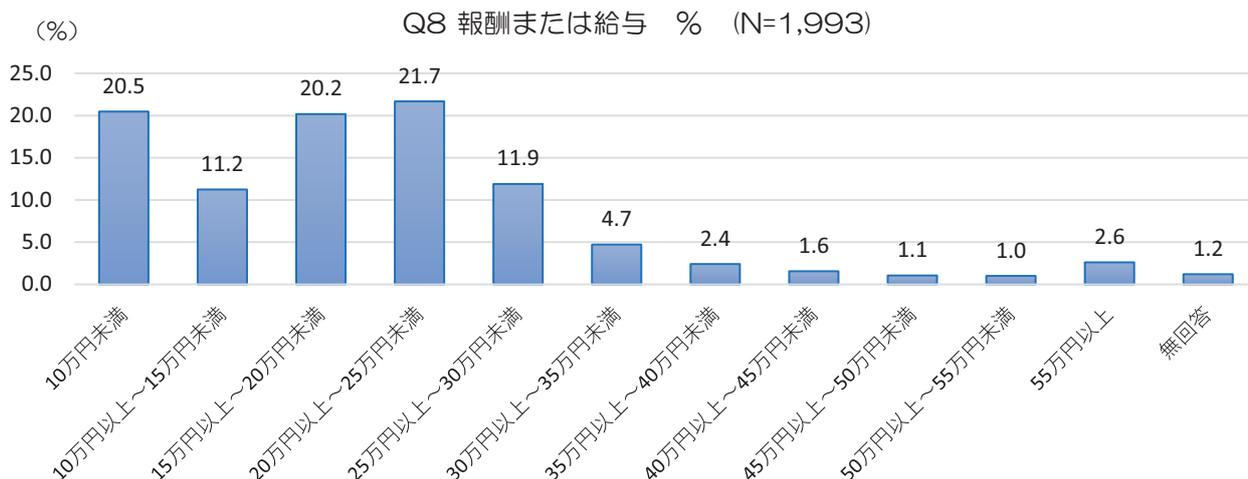
「は・き・柔整施術所」、「あ・は・き・柔整施術所」は若年層ほど高くなる傾向がみられ、「出張施術のみ」は加齢と共に構成比率が高くなっている。

Q5 勤務先の種別

複数回答 %



(12) 報酬または給与



全体では、報酬または給与平均月額が平成8年20.3万円、平成13年20.1万円、平成18年21.0万円、平成23年20.4万円、平成28年20.0万円とほぼ同額となっている。10万円未満の比率は回を重ねる毎に増となっており、報酬または給与のピークは20万円以上～25万円未満の層となっている。

<開設・勤務別>

平均月額は、開設している層が20.3万円、勤務している層が19.8万円となっている。

<性別>

平均月額は、男性が22.8万円、女性が16.8万円となっている。

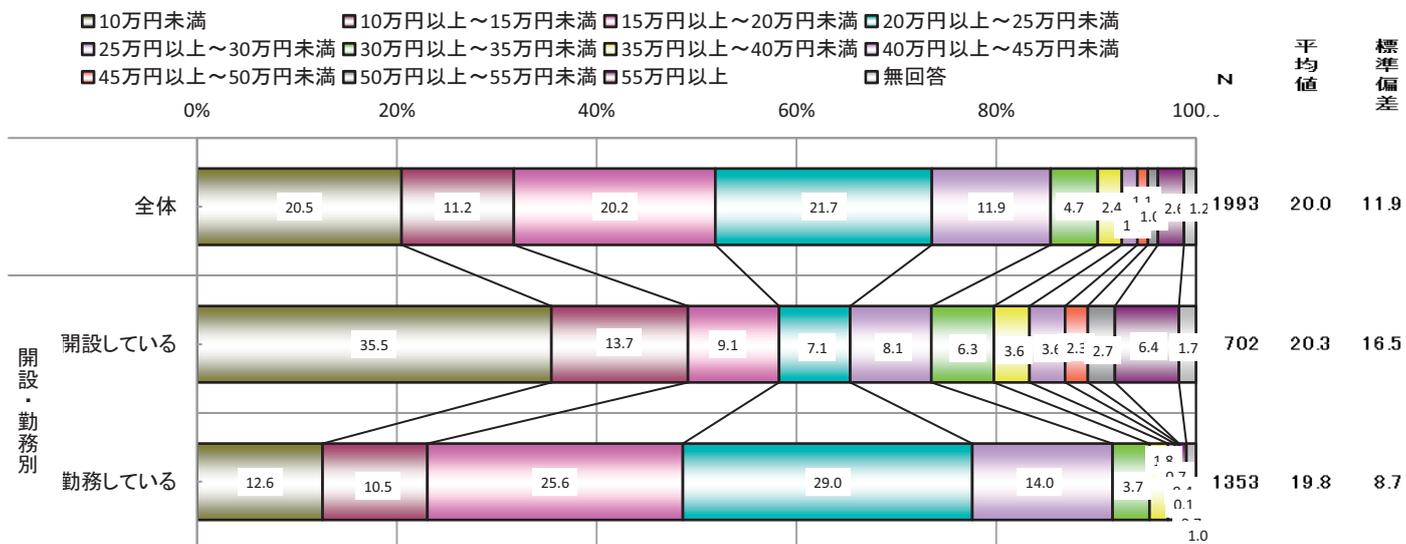
<年齢別>

平均月額は、25～29歳と30～34歳が21.9万円とピークとなっている。「10万円未満」比率は加齢と共に高くなる傾向がみられ、50歳以上では45.3%となっている。

<開設状況別>

平均月額は、「あ・は・き・柔整施術所」が37.1万円、「は・き・柔整施術所」が31.3万円と、30万円以上の平均値となっている。

Q8 報酬または給与 %



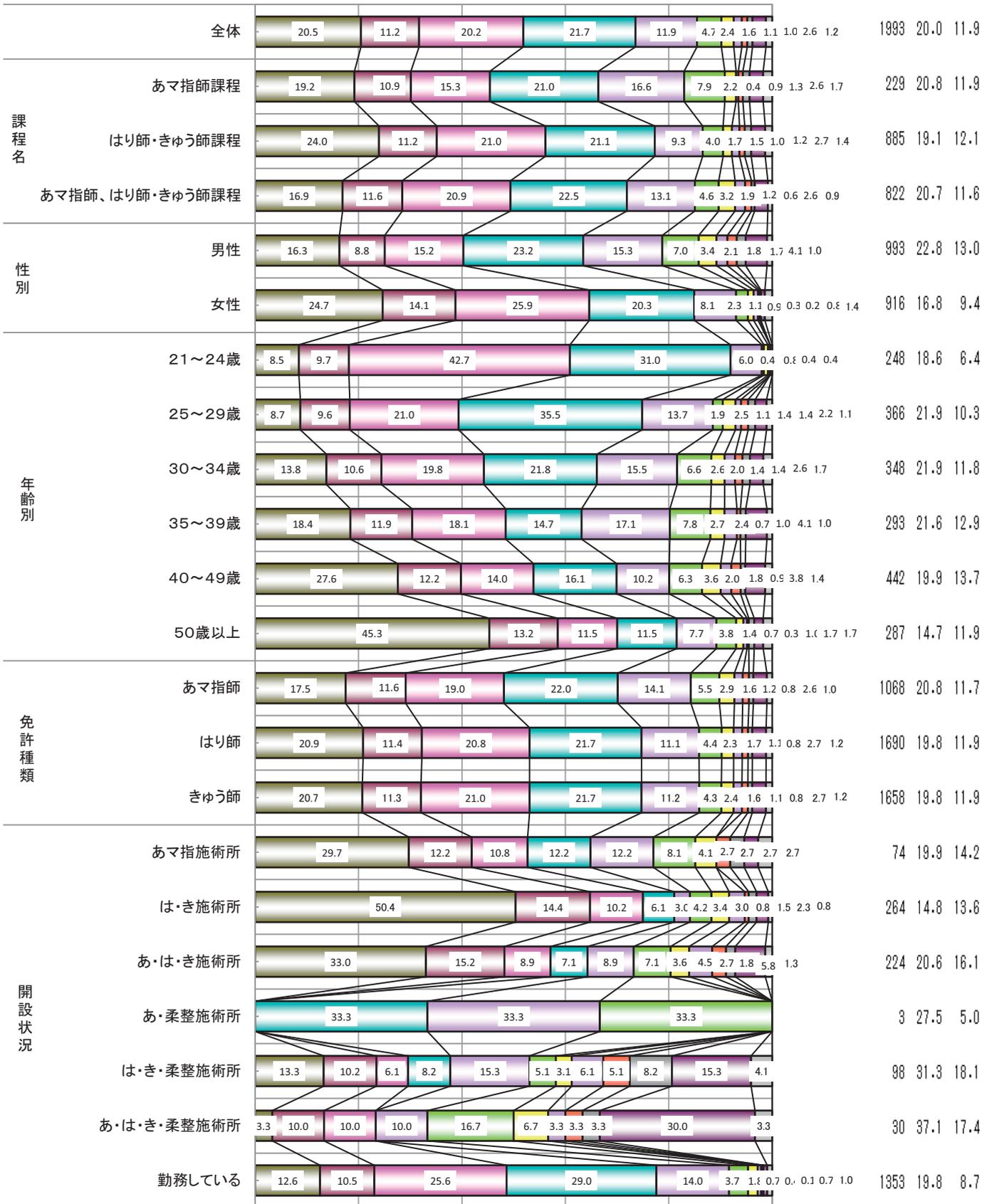
□10万円未満
 □20万円以上～25万円未満
 □35万円以上～40万円未満

□10万円以上～15万円未満
 □25万円以上～30万円未満
 □40万円以上～45万円未満

□15万円以上～20万円未満
 □30万円以上～35万円未満
 □45万円以上～50万円未満

N 平均値 標準偏差

0% 20% 40% 60% 80% 100%



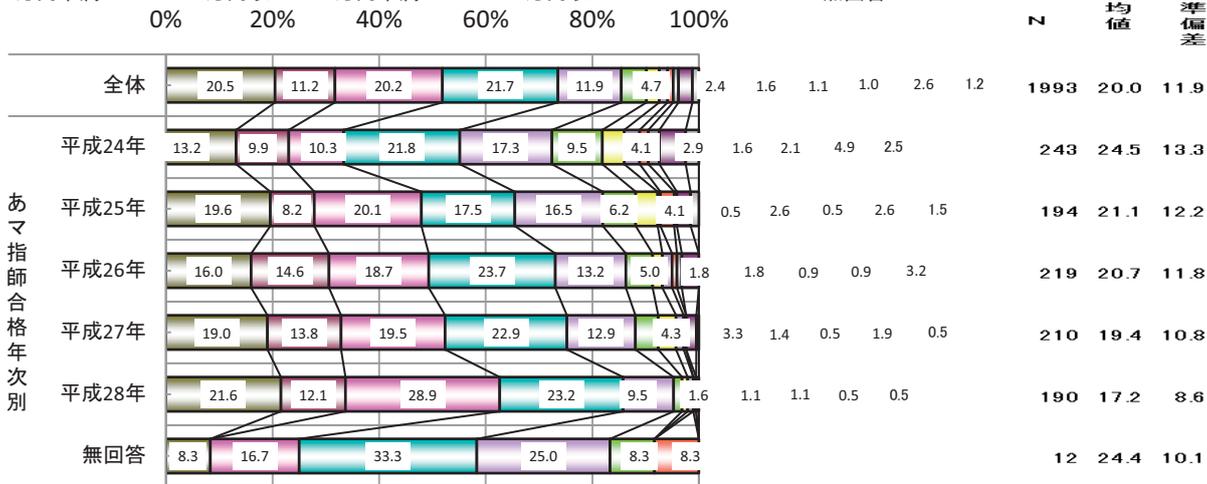
Q8 報酬または給与 %

- 10万円未満
- 25万円以上～30万円未満
- 45万円以上～50万円未満

- 10万円以上～15万円未満
- 30万円以上～35万円未満
- 50万円以上～55万円未満

- 15万円以上～20万円未満
- 35万円以上～40万円未満
- 55万円以上

- 20万円以上～25万円未満
- 40万円以上～45万円未満
- 無回答



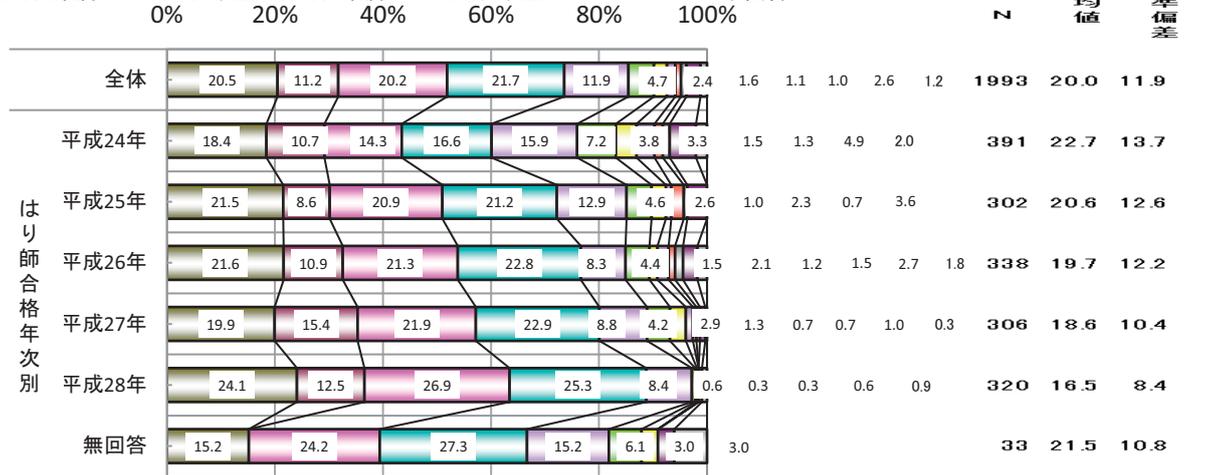
Q8 報酬または給与 %

- 10万円未満
- 25万円以上～30万円未満
- 45万円以上～50万円未満

- 10万円以上～15万円未満
- 30万円以上～35万円未満
- 50万円以上～55万円未満

- 15万円以上～20万円未満
- 35万円以上～40万円未満
- 55万円以上

- 20万円以上～25万円未満
- 40万円以上～45万円未満
- 無回答



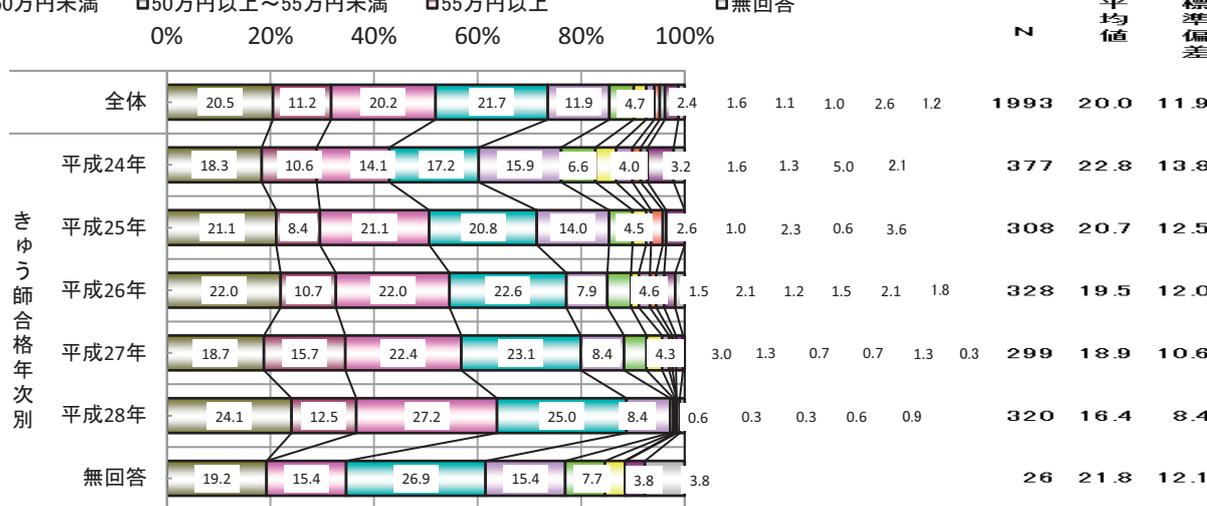
Q8 報酬または給与 %

- 10万円未満
- 25万円以上～30万円未満
- 45万円以上～50万円未満

- 10万円以上～15万円未満
- 30万円以上～35万円未満
- 50万円以上～55万円未満

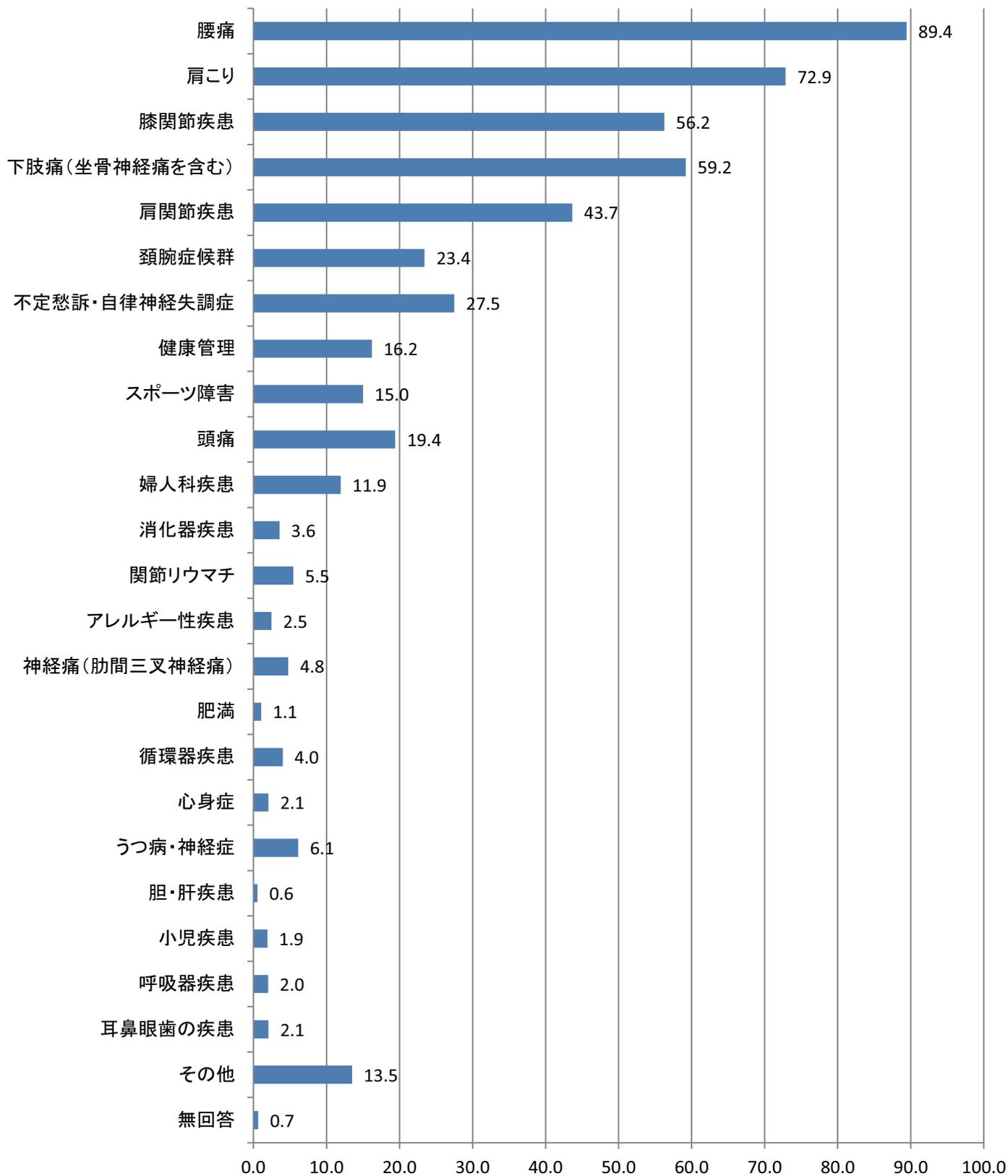
- 15万円以上～20万円未満
- 35万円以上～40万円未満
- 55万円以上

- 20万円以上～25万円未満
- 40万円以上～45万円未満
- 無回答



(13) 取扱患者の主な症状

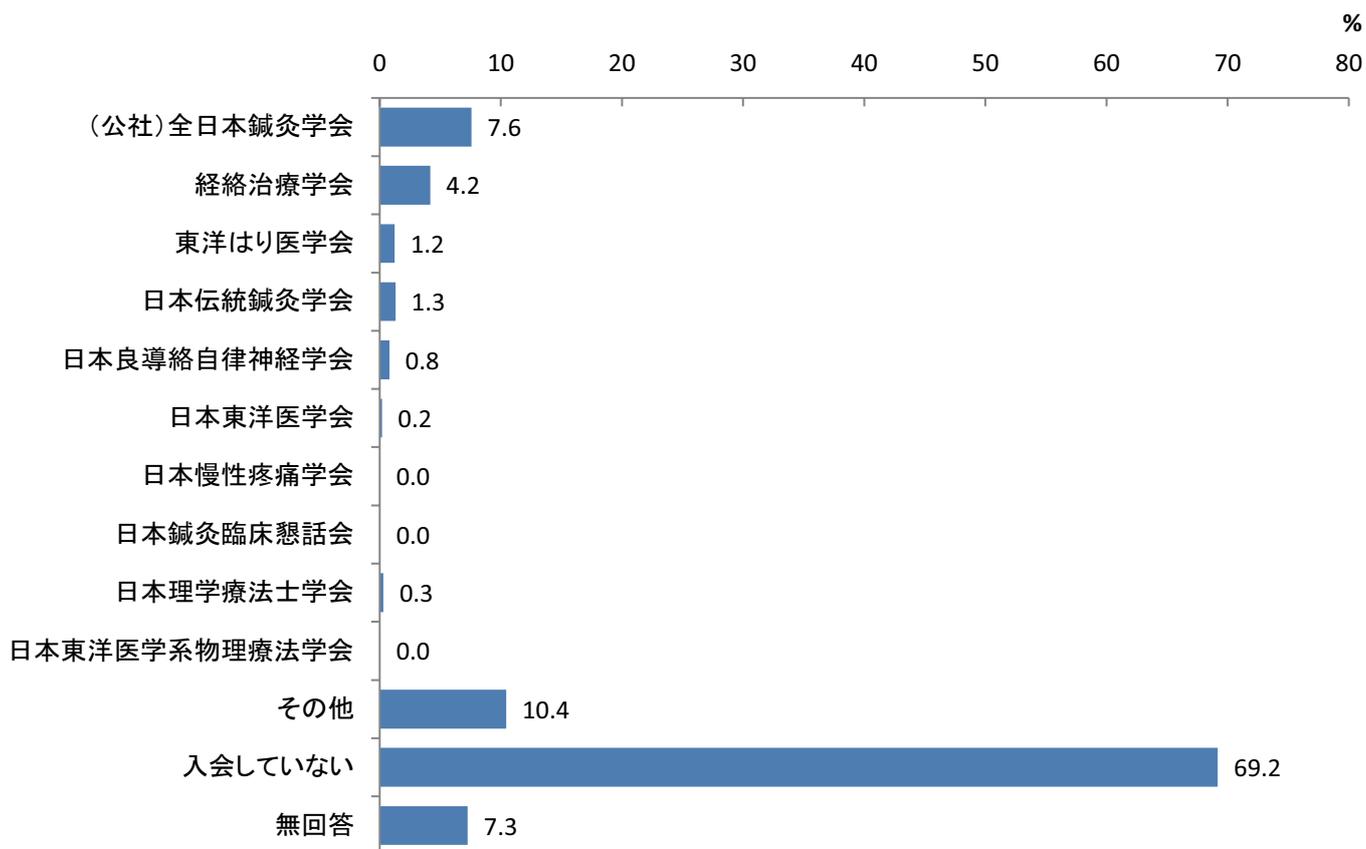
Q9 取扱患者の主な症状（主な5つ） 複数回答 %



「腰痛」(89.4%)、「肩こり」(72.9%)、「下肢痛」(59.2%)、「膝関節疾患」(56.2%)が過半数を超えて主な症状となっている。

(14) 学会等の入会状況

Q10 学会等入会状況 (N=2,615)

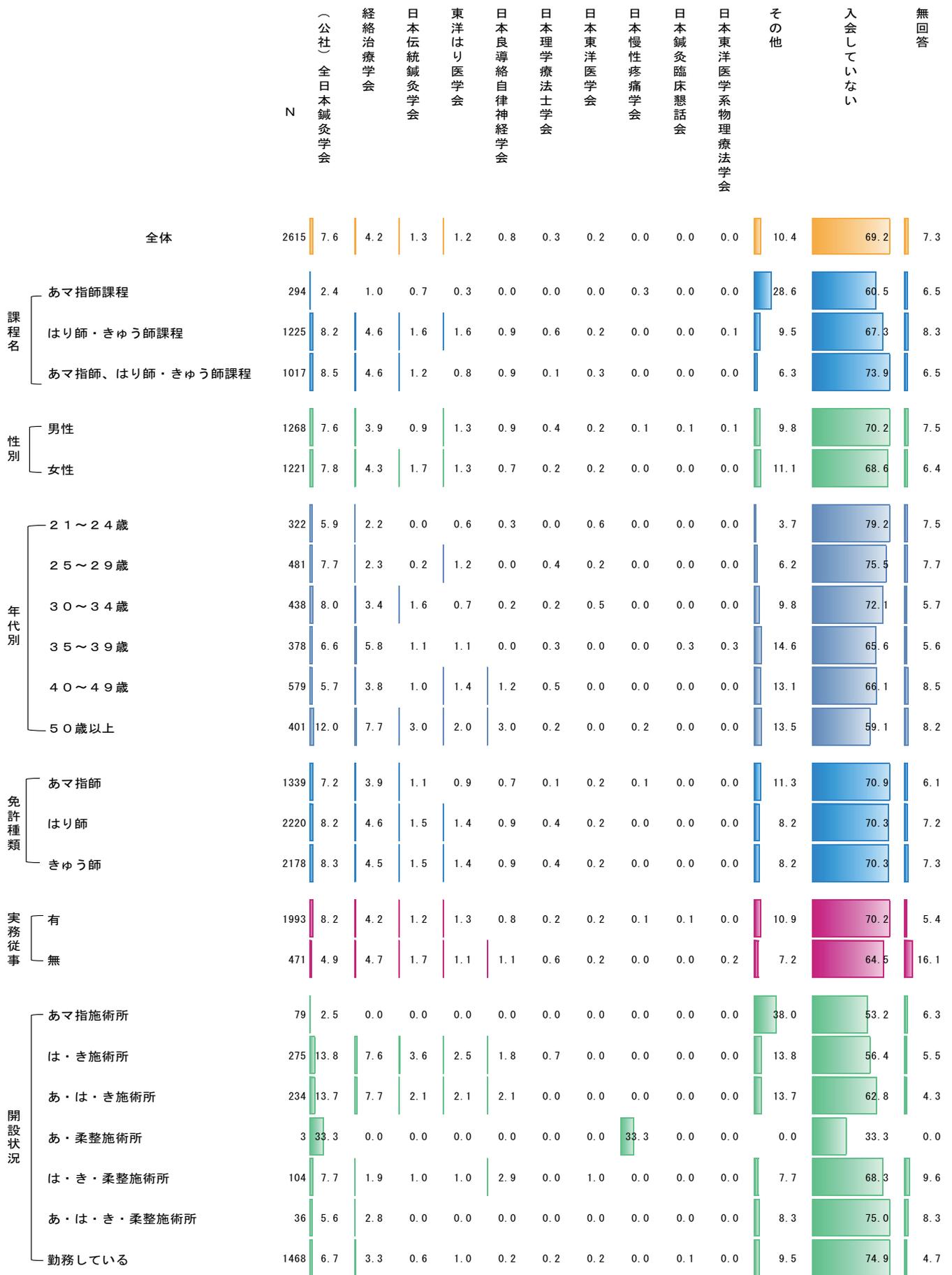


全体としての学会への入会比率は、25.4%と低く、全体の4人に1人が加入しているのみである。主なものとしては、「全日本鍼灸学会」(7.6%)、「経絡治療学会」(4.2%)、「日本伝統鍼灸学会」(1.3%)、「東洋はり医学会」(1.2%)となっている。なお、「入会していない」層の主な理由としては、以下のようになった。

入会していない主な理由 (件数)

Q10-12 (上位10位)	
(N=1,809)	
151	必要ない/メリットない
109	会費高い/金銭的余裕ない
74	どこに入会したらいいかわからない
68	検討中
63	時間的余裕なし/多忙
48	よく知らない/わからない
32	良い所不明/情報少ない
32	非従事/育児/学生/病気
28	業務に関わっていない
23	機会/きっかけがない

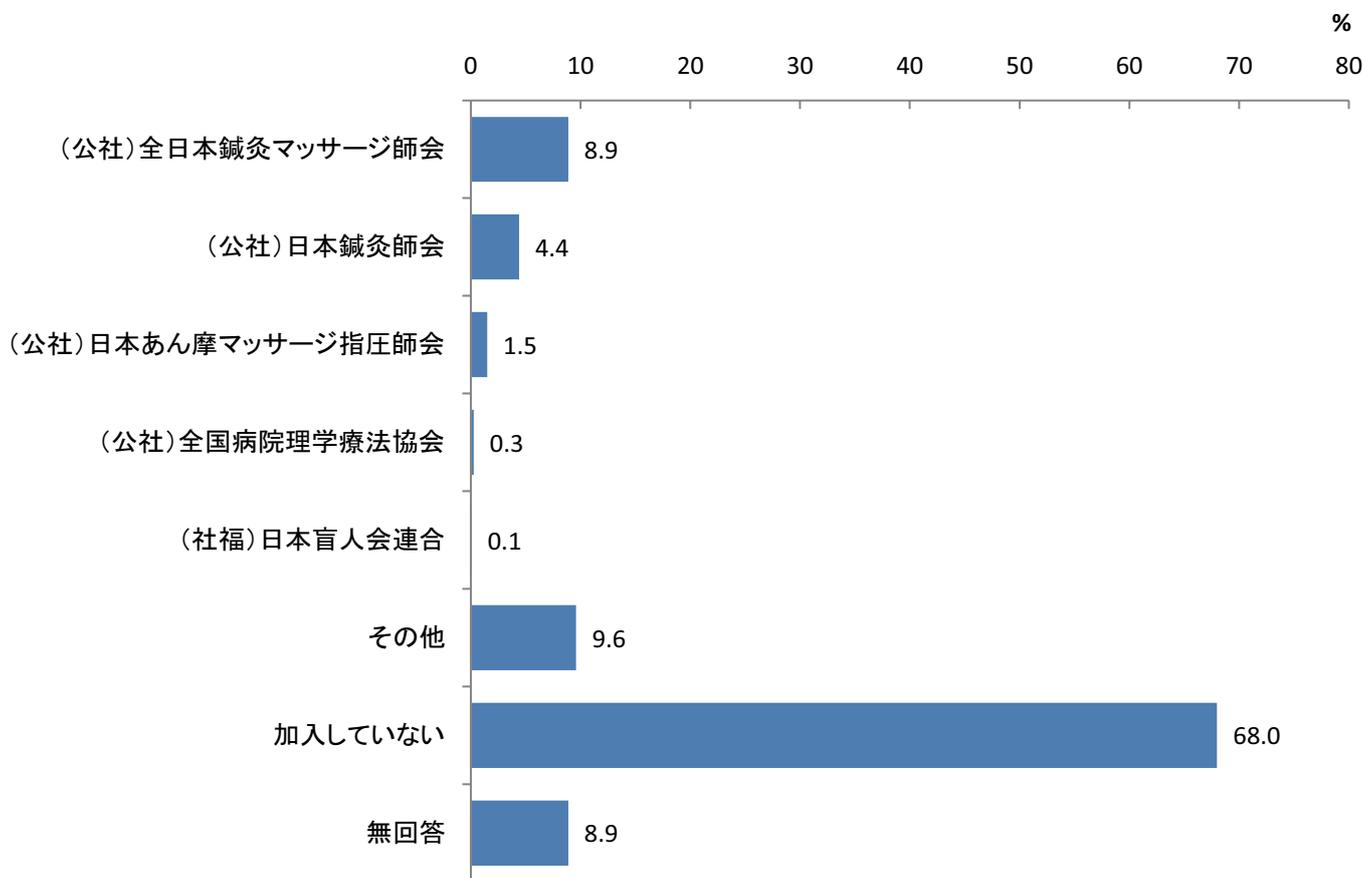
Q10 学会等入会状況 複数回答 %



(15) 業界団体の加入状況

Q11 業界団体の加入状況 複数回答 % (N=2,615)

Q11 業界団体の加入状況



全体として業界団体への加入率は 23.1%となった。

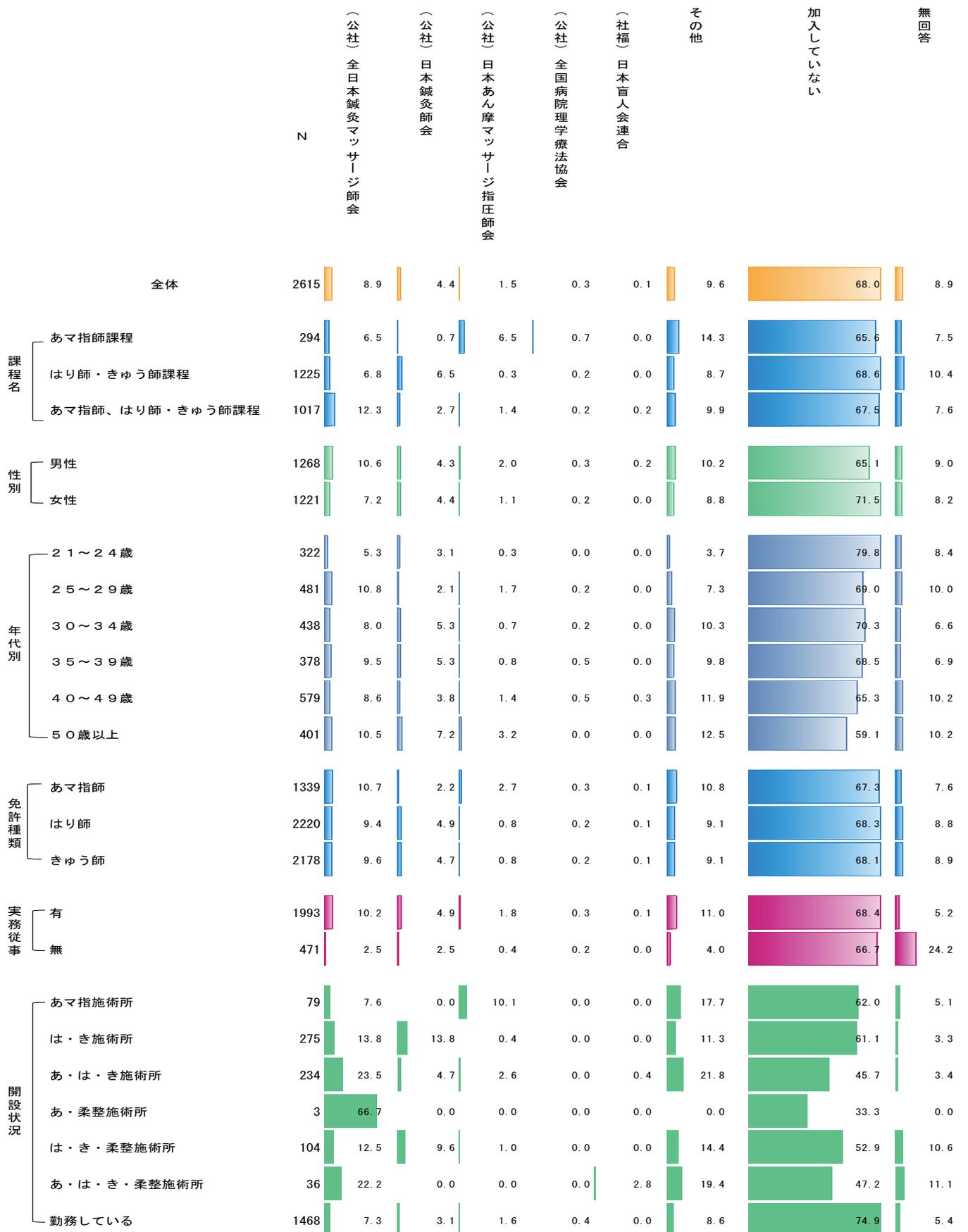
主なものとしては、「全日本鍼灸マッサージ師会」(8.9%)や「日本鍼灸師会」(4.4%)となった。

加入していない層の「加入していない」理由としては、以下のようになった。

加入していない主な理由 (件数)

Q11-7 (上位10位)	
(N=1,778)	
62	検討中
56	よく知らない/分からない
44	どこに入会したらいいか分からない
30	非従事/育児/学生/病気
24	業務に関わっていない
23	時間的余裕なし/多忙
21	開業したら/開業していない
20	勤務先が入っている
18	機会/きっかけがない
18	魅力がない

Q11 業界団体の加入状況 複数回答 %



ご あ い さ つ

(アンケート調査のお願い)

拝啓 あはき養成施設の卒業生の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。

このたび、当学校協会では、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の養成施設（学校）を卒業後国家試験に合格され、どのような進路及び社会的な活動の場を選ばれたかについて、平成8年から5年ごとにアンケート調査を行ってきておりますが、本年度第5回目のアンケート調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本調査は、卒業生の皆様から幅広く効率的に意見の収集を行い、活動の実態を把握することで、皆様に役立つ情報の提供や学会、業界への期待に応えるための基礎資料作成を目的として今回も調査を企画いたしました。

大変お忙しい中、誠に恐縮に存じますが、当協会として今後の養成施設（学校）への提言などとして取りまとめ、後輩の方々の教育向上に役立てることを目的としておりますので、何卒ご協力賜わりたくお願い申し上げます。

なお、この調査でお答えいただいた内容に関しては、原データを、数字データとして全て統計的に処理されます。プライバシーの保護については万全を期しますので、個人が特定されることなどは一切ございません。ご安心していただき、ありのままのご回答をお寄せ下さいますよう重ねてお願いいたします。

また、**調査期日は平成28年10月1日(土)とし、提出期限は同年10月15日(土)まで**に、返信用封筒に同封のうえ、期限厳守にて当学校協会へご返送お願いいたします。

調査の公表は、後日、当学校協会の広報誌「会報」及びホームページにて発表することにしておりますのでご了承の程お願い申し上げます。

敬具

平成28年9月吉日

<調査実施機関>

公益社団法人 東洋療法学校協会
会 長 坂 本 歩

第5回 「あん摩マッサージ指圧師、はり師及び
きゅう師免許取得の進路状況アンケート調査」
報告書（要約版）
（平成28年10月実施）

公益社団法人 東洋療法学校協会
事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-9
第一長谷川ビル 4F
電話 東京 (03) 3432-0258
FAX 東京 (03) 3432-0263
<http://www.toyoryoho.or.jp>

